氏名	種別	内容
山田　泰之、西田　昇平、士反　伸和、佐藤　文彦	学会報告	オウレンのイソキノリンアルカロイド生合成系を制御するAP2/ERF型転写因子の機能解析　日本農芸化学会2018年度大会　名古屋　(2018/3/16)
西田　昇平、山田　泰之、佐藤　文彦	学会報告	ハナビシソウにおけるイソキノリンアルカロイド生合成遺伝子の発現ネットワーク解析　日本農芸化学会2018年度大会　名古屋　(2018/3/16)
浜　竜哉、西尾　洋、山田　泰之、佐藤　文彦	学会報告	CRISPR/Cas9 systemを用いたオウレンゲノム編集細胞の作製と一細胞解析　日本農芸化学会2018年度大会　名古屋　(2018/3/16)
炭田　奈々、山田　泰之、大木　秀浩、松井　治幸、潤井　みや、南　博道、佐藤　文彦、士反 伸和	学会報告	アルカロイド耐性・輸送体タンパク質を用いた効率的なアルカロイド生産系の検討　日本薬学会　第138年会　石川　(2018/3/27)
石飛　遥奈、中川　朋美、田中　萌、西山　由美、士反　伸和、須藤　保	学会報告	ヒト卵巣がん細胞KOC7C株に対する漢方薬とシスプラチンの併用効果　日本薬学会　第138年会　石川　(2018/3/27)
池水　奈々子、西山　由美、士反　伸和、須藤　保	学会報告	アカネ根のヒト卵巣がん細胞株に対する抗腫瘍活性成分の探索２　日本薬学会　第138年会　石川　(2018/3/27)
滝川　侑衣、西山　由美、士反　伸和、須藤　保	学会報告	ビャクシのヒト卵巣がん細胞KOC7C株に対する抗腫瘍活性成分の探索　日本薬学会　第138年会　石川　(2018/3/27)
山田　泰之、大木　秀浩、炭田　奈々、潤井　みや、松井　治幸、南　博道、佐藤　文彦、士反　伸和	学会報告	アルカロイド生産性大腸菌および酵母への輸送体の導入と発現　第13回トランスポーター研究会年会　福岡　(2018/7/21)
士反　伸和、天野　郁子、北島　佐紀人、鈴木　秀幸、肥塚　崇男	学会報告	ペチュニアのトランスクリプトーム解析および輸送体の時期組織特異的な発現解析　第13回トランスポーター研究会年会　福岡　(2018/7/21)
山田　泰之、士反　伸和、佐藤　文彦	学会報告	オウレンのイソキノリンアルカロイド生合成系を制御するAP2/ERF型転写因子　第36回日本植物細胞分子生物学会　金沢　(2018/8/28)
掛川　博文、士反　伸和、　荻田　信二郎、矢崎　一史、　杉山　暁史	学会報告	コーヒーノキpurine permeasefamilyの発現及び輸送解析　第36回日本植物細胞分子生物学会　金沢　(2018/8/28)
士反　伸和、山田　泰之、大木　秀浩、炭田　奈々、潤井　みや、松井　治幸、南　博道、佐藤　文彦	学会報告	アルカロイド生産性大腸菌および酵母への耐性・輸送体の導入と生産性の検討　第36回日本植物細胞分子生物学会　金沢　(2018/8/28)
山田　泰之、堀　健太郎、Ratmoyo Purwanto、西田　昇平、士反　伸和、佐藤　文彦	学会報告	ハナビシソウドラフトゲノムデータを利用したアルカロイド生合成関連遺伝子のマイニング　日本生薬学会第65回年会　広島　(2018/9/17)
藤居　藍、今井　健太、天野　郁子、碇　純子、山田　泰之、西山　由美、吉森　保、士反　伸和	学会報告	オートファジー誘導/阻害生薬の探索　日本生薬学会第65回年会　広島　(2018/9/17)
山田　泰之、士反　伸和、佐藤　文彦	学会報告	オウレンのイソキノリンアルカロイド生合成におけるERF転写因子の機能解析　植物の生長調節学会第53回大会　札幌　(2018/11/4)
士反　伸和	学会報告	二次代謝産物の輸送体研究　～これまでとこれから～　第７回二次代謝フロンティア研究会　滋賀　(2018/12/8)
士反　伸和	講演	植物二次代謝産物の輸送機構の解明　岩手生物工学研究センター第２４０回公開セミナー　岩手　(2018/3/14)
士反　伸和	講演	薬用植物における二次代謝輸送機構の解明　第８回バイオシグナル研究会 神戸　(2018/12/11)
水谷　正治、士反　伸和、杉山　暁史（編集）	著書	基礎から学ぶ植物代謝生化学　1-328 (2018) 羊土社
Amano I., Kitajima S., Suzuki H., Koeduka T., Shitan N.	論文	PloS One, 2018, 13(6), e0198936. doi: 10.1371/journal.pone.0198936."Transcriptome analysis of *Petunia axillaris* flowers reveals genes involved in morphological differentiation and metabolite transport" 査読有り
土生　康司	トピックス	医薬品・サプリメントの特徴にあった情報活用を考える ニューダイエットセラピ 日本臨床栄養協会誌 34 49-52 (2018)
忍海邊　梨紗、上西　美穂、濵本　梓、土生　康司	学会報告	PMDA添付文書情報検索ページにおける医薬品識別コードの登録様式に関する調査　日本医療薬学会第2回フレッシャーズ・カンファレンス　京都　(2018/7/8)
土生　康司、水谷　暢明、宮田　興子	学会報告	薬学統合学習の構築 第3報　―低学年次生への臨床薬学・薬理学・有機化学の橋渡し教育の導入― 第3回薬学教育学会　東京　(2018/9/2)
土生　康司	講演	臨床の諸問題を基礎薬学の知識でどのようにひも解くか　SGLT2阻害薬について　臨床を考えた数字の読み方 神戸薬科大学　臨床・基礎薬学連携シンポジウム　神戸　(2018/10/27)
土生　康司	講演	臨床から基礎までをつなぐ薬学教育をどのように構築するか　低学年での臨床から基礎薬学までをつなぐ薬学教育　～チーム基盤型教育（TBL)を活用する橋渡し教育～ 神戸薬科大学　臨床・基礎薬学連携シンポジウム　神戸　(2018/10/27)
宮田　興子、水谷　暢明、土生　康司	著書	臨床への有機と薬理からのアプローチ　1-138 (2018) 京都廣川書店

土生　康司	著書	医薬品情報学　第２章「医療用医薬品の添付文書」 19-36 (2018) 廣川書店
Fujiwara T, Moriwaki K	プロシーディング	Estimation of cost parameters using claims database for use in cost‐effectiveness analysis of lung cancer treatment in Japan. PCN24. ISPOR Asia Pacific 2018, Tokyo(2018/9/9)
Uechi S, Moriwaki K	プロシーディング	Preliminary analysis of the cost‐effectiveness of Pertuzmab in patients with HER2‐positive breast cancer in Japan. PCN45. ISPOR Asia Pacific 2018, Tokyo
Hagino Y, Moriwaki K	プロシーディング	Development of an economic model to assess the cost‐effectiveness of proton beam therapy in patients with hepatocellular carcinoma in Japan. PCN46. ISPOR Asia Pacific 2018, Tokyo
森脇 健介	解説	骨折治療介入による医療費節減効果. PROGRESS IN MEDICINE. 38:89-94. 2018
森脇 健介	講演	医療統計学の基礎と臨床試験の読み方. 平成30年度 第2回兵庫県立病院薬剤師研修（兵庫）(2018/11/10)
森脇 健介	講演	医薬品の費用対効果の評価と活用 ―くすりの価値をどう測る？―. 第６８回日本薬学会近畿支部総会・大会 招待講演（兵庫）(2018/10/13)
水田 貴大, 北澤 京子, 森脇 健介, 竹内 雅代, 梶 有貴, 荘子 万能	講演	論文を読みながら学ぶ費用対効果分析のイロハ. 日本プライマリ・ケア連合学会, 第16回 秋季生涯教育セミナー（大阪）(2018/9/17)
森脇 健介	講演	医療技術の費用対効果評価-基本手法と事例-. 第91回 日本整形外科学会 学術総会 教育研修講演.2018（兵庫）(2018/5/26)
森脇 健介	講演	森脇 健介. 薬物治療の医療経済評価と実例から. 大阪府病院薬剤師会 第4回 医療情報の使い方セミナー.2018（大阪）(2018/2/25)
Moriwaki K, Fukuda H	論文	Cost-effectiveness of implementing guidelines for the treatment of glucocorticoid-induced osteoporosis in Japan. Osteoporosis International 2019; in press.
佐々木　直人、溝口　泰司、Amin HZ、堀部　紗世、河内　正二、山下　智也、平田　健一、力武　良行	学会報告	紫外線照射による動脈硬化性疾患に対する抑制効果の検討　日本薬学会第138年会　金沢（2018/3/27）
濱口　康介、堀部　紗世、黒井　美希、坂口　恵亮、中江　友軌、橋本　紗季、山本　麻耶、河内　正二、佐々木　直人、平田　健一、力武　良行	学会報告	ラミニンによるアストロサイト突起形成の分子制御機構　日本薬学会第138年会　金沢（2018/3/26）
山本 麻耶、河内 正二、黒井 美希、中江 友軌、坂口 恵亮、橋本 紗季、濱口 康介、堀部　紗世、佐々木　直人、平田　健一、力武　良行	学会報告	マウス脳血管とアストロサイトとの接着部でのAQP4局在に果たすシントロフィンおよびジストログリカンの役割　日本薬学会第138年会　金沢（2018/3/26）
Amin HZ, Sasaki N, Kasahara K, Emoto T, Hayashi T, Mizoguchi T, Rikitake Y, Yamashita T, Hirata KI,	学会報告	Foxp3+ regulatory T cells regulates immunoinflammatory responses and prevents atherosclerosis in hypercholesterolemic mice　Asian Pacific Society of Cardiology Congress Taiwan (2018/5/19)
Sasaki N.	学会報告	Treating atherosclerotic disease by modulating T cell immune responses.　XVIIIth International Symposium on Atherosclerosis Tronto (2018/6/11)
佐々木　直人、山下　智也、平田　健一、力武　良行	学会報告	動脈硬化性疾患とがんにおける免疫チェックポイントタンパク質と制御性T細胞の役割　第50回日本動脈硬化学会総会　大阪（2018/7/13）
堀部　紗世、力武　良行	学会報告	ヒト肺がん由来A549細胞のCDDP耐性細胞はミトコンドリア機能が低下している　第77回日本癌学会学術総会　大阪（2018/9/27）
前嵜　友香里、堀部　紗世、常岡　眞帆、松友　結花、和気　正樹、武田　憲彦、河内　正二、佐々木　直人、力武　良行	学会報告	シスプラチンに対する耐性獲得機構におけるミトコンドリア機能の役割
Amin HZ, Sasaki N, Yamashita T, Mizoguchi T, Rikitake Y, Hirata KI.	学会報告	Overexpression of cytotoxic T-lymphocyte-associated antigen-4 protects against abdominal aortic aneurysm formation in mice.　The 90th AHA Scientific Sessions Chicago (2018/11/12)
前嵜　友香里、堀部　紗世、常岡　眞帆、松友　結花、和気　正樹、武田　憲彦、河内　正二、佐々木　直人、力武　良行	学会報告	シスプラチン耐性獲得にはミトコンドリア機能低下が関与する　第41回日本分子生物学会年会　横浜（2018/11/28）
佐々木　直人	学会報告	CTLA-4 protects against experimental abdominal aortic aneurysm formation.　第47回日本免疫学会学術集会　福岡（2018/12/12）
佐々木　直人、福永　淳、錦織　千佳子、山下　智也、平田　健一、力武　良行	講演	紫外線照射による心血管疾患発症・進展の抑制機序の検討と臨床応用　第40回日本光医学・光生物学会　奨励賞受賞講演　仙台（2018/7/20）
Sasaki N.	総説	Photomedicine and Photobiology., 2018, 39, 7-15. ″Ultraviolet B irradiation as a novel strategy to prevent atherosclerotic cardiovascular disease″ 査読有

Horibe S, Kawauchi S, Tanahashi T, Sasaki N, Mizuno S, Rikitake Y.	論文	Biochem Biophys Res Commun., 2018, 507, 426-432. "CD44v-dependent upregulation of xCT is involved in the acquisition of cisplatin-resistance in human lung cancer A549 cells" 査読有り
Sato J, Horibe S, Kawauchi S, Sasaki N, Hirata KI, Rikitake Y.	論文	J Neurochem., 2018, 147(4), 495-513. "Involvement of aquaporin-4 in laminin-enhanced process formation of mouse astrocytes in 2D culture: Roles of dystroglycan and α-syntrophin in aquaporin-4 expression" 査読有
Tagashira T, Fukuda T, Miyata M, Nakamura K, Fujita H, Takai Y, Hirata KI, Rikitake Y.	論文	Arterioscler Thromb Vasc Biol., 2018, 38(5), 1159-1169., "Afadin Facilitates Vascular Endothelial Growth Factor-Induced Network Formation and Migration of Vascular Endothelial Cells by Inactivating Rho-Associated Kinase Through ArhGAP29" 査読有
Horibe S, Tanahashi T, Kawauchi S, Murakami Y, Rikitake Y.	論文	BMC Cancer., 2018, 18(1), 47. "Mechanism of recipient cell-dependent differences in exosome uptake" 査読有
Yoshida N, Emoto T, Yamashita T, Watanabe H, Hayashi T, Tabata T, Ozawa G, Hoshi N, Hatano N, Sasaki N, Mizoguchi T, Amin HZ, Hirota Y, Ogawa W, Yamada T, Hirata K.	論文	Circulation., 2018, 138(22), 2486-2498., "Bacteroides vulgatus and Bacteroides dorei Reduce Gut Microbial Lipopolysaccharide Production and Inhibit Atherosclerosis" 査読有
Hayashi T, Yamashita T, Watanabe H, Kami K, Yoshida N, Tabata T, Emoto T, Sasaki N, Mizoguchi T, Irino Y, Toh R, Shinohara M, Okada Y, Ogawa W, Yamada T, Hirata KI.	論文	Circ J., 2018, 83(1), 182-192., "Gut Microbiome and Plasma Microbiome-Related Metabolites in Patients with Decompensated and Compensated Heart Failure" 査読有
Yamamoto H, Yoshida N, Shinke T, Otake H, Kuroda M, Sakaguchi K, Hirota Y, Toba T, Takahashi H, Terashita D, Uzu K, Tahara N, Shinkura Y, Kuroda K, Nagasawa Y, Nagano Y, Tsukiyama Y, Yanaka KI, Emoto T, Sasaki N, Yamashita T, Ogawa W, Hirata KI.	論文	Data Brief., 2018, 18, 172-175., "Data on impact of monocytes and glucose fluctuation on plaque vulnerability in patients with coronary artery disease" 査読有
Yamamoto H, Yoshida N, Shinke T, Otake H, Kuroda M, Sakaguchi K, Hirota Y, Toba T, Takahashi H, Terashita D, Uzu K, Tahara N, Shinkura Y, Kuroda K, Nagasawa Y, Nagano Y, Tsukiyama Y, Yanaka KI, Emoto T, Sasaki N, Yamashita T, Ogawa W, Hirata KI.	論文	Atherosclerosis., 2018, 269, 245-251., "Impact of CD14++CD16+ monocytes on coronary plaque vulnerability assessed by optical coherence tomography in coronary artery disease patients" 査読有
Akai T.	学会報告	Cultural Transfer between London and Takarazuka: Translation and Adaptation of Western Comedy in Late 1910s-1920s Japan　IFTR World Congress 2018　Belgrade　(2018/7/9)
赤井　朋子	学会報告	坪内士行の英国留学と宝塚少女歌劇について（ワークショップ「交差するまなざし―外国（人）が見つけた日本、日本（人）が見つけた日本をめぐって」）　英米文化学会第30回大会　京都　(2018/9/9)
赤井　朋子	学会報告	アジア・パシフィックの劇場文化―香港とマレーシアの場合―　英米文化学会分科会　京都　(2018/9/9)
玉巻　欣子、田内　義彦	学会報告	神戸薬科大学における発信型海外薬学研修プログラムの構築と検証―米国薬学部でのプレゼンテーションと薬局フィールドワークの取り組み―　第3回日本薬学教育学会 東京　(2018/9/1)
玉巻　欣子	講演	医療系学部における英語教育　日本大学松戸大学プログラム事業「スポーツ日大によるアンチ・ドーピング教育研究拠点確立とポストオリンピックへの展開」体育の日イベント　(2018/10/7)
津川　尚子、桒原　晶子、小笠原　帆南、鎌尾　まや、中川公恵、長谷川　潤、田中清	学会報告	若年成人女性のVitamin D栄養の年間実態把握と栄養改善を目的とした調査　日本薬学会第138年会　金沢　(2018/3/26)
藤原　聖美、西村　亮宏、中川　公恵、岡野　登志夫、須原　義智、長谷川　潤	学会報告	Tamoxifen誘導型全身性ビタミンK変換酵素（UBIAD1）欠損マウスの表現型解析　日本薬学会第138年会　金沢　(2018/3/27)
藤原　聖美、西村　亮宏、一ノ瀬　千尋、河本　桂生花、中川　公恵、長谷川　潤	学会報告	ビタミンK変換酵素（UBIAD1）は出生成熟後のマウスの生存維持に必須の役割を担う 日本ビタミン学会第70回大会　高槻　(2018/6/23)
吉野　寿美、北裏　卓也、泰井　麻由奈、横田　衣利、中川　公恵、長谷川　潤	学会報告	脳神経特異的UBIAD1欠損による小脳プルキンエ細胞消失の原因解析 日本ビタミン学会第70回大会　高槻　(2018/6/23)
伊東　優貴、廣田　佳久、中川　公恵、須原　義智	学会報告	新規ビタミンK蛍光プローブの合成及びビタミンK結合タンパク質の解析　日本ビタミン学会第70回大会　高槻　(2018/6/23)
西川　美宇、安田　香織、高松　将士、阿部　圭祐、堀部　恭平、真野　寛生、橘高敦史、高野　真史、中川　公恵、岡野　登志夫、生城　真一、榊　利之	学会報告	ゲノム編集法で作製したビタミンD関連遺伝子改変ラットを用いた新規ビタミンD作用機序の解明　日本ビタミン学会第70回大会　高槻　(2018/6/23)

阿部　圭祐、西川　美宇、堀部　恭平、安田　香織、真野　寛生、橘高　敦史、高野　真史、中川　公恵、岡野　登志夫、生城　真一、榊　利之	学会報告	ゲノム編集法で作製した変異型VDR導入ラットにおける25(OH)ビタミンD3およびビタミンD誘導体の活性評価　日本ビタミン学会第70回大会　高槻　(2018/6/23)
堀部　恭平、西川　美宇、安田　香織、阿部　圭祐、真野　寛生、中川　公恵、岡野　登志夫、生城　真一、榊　利之	学会報告	ゲノム編集法で作製したVDR遺伝子改変ラットの表現型解析による新規ビタミンD作用メカニズムの解明　日本ビタミン学会第70回大会　高槻　(2018/6/23)
安田　香織、岡本　海利、西川　美宇、真野　寛生、中川　公恵、津川　尚子、岡野　登志夫、川越　文裕、橘高　敦史、生城　真一、榊　利之	学会報告	CYP24遺伝子改変ラットを用いた25-ヒドロキシビタミンD3の代謝解明　日本ビタミン学会第70回大会　高槻　(2018/6/23)
北條　寛典、外園　さや、廣野　順介、瀬木一西田　恵里、中川　公恵、長谷川　潤	学会報告	妊娠時末梢組織における神経軸索伸長　フォーラム2018衛生薬学・環境トキシコロジー　長崎　(2018/9/10)
長田　理沙、北條　寛典、岡本　大志、吉田　千秋、廣野　順介、中川　公恵、長谷川　潤	学会報告	妊娠マウスの生殖器に対する内分泌かく乱物質DEHPの毒性評価－妊娠初期のDEHP曝露が膣の免疫能に与える影響の解析－　第68回日本薬学会近畿支部総会・大会　姫路　(2018/10/13)
廣野　順介、堀川　伊和、只佐　友貴、北條　寛典、瀬木一西田　恵里、中川　公恵、長谷川　潤	学会報告	光血栓性脳梗塞モデルを用いた梗塞巣拡大メカニズムの探索　－Ccr2によるMatrix Metalloproteinase群の発現制御－　第68回日本薬学会近畿支部総会・大会　姫路　(2018/10/13)
平島　俊亮、中川　公恵、須原　義智、長谷川　潤	学会報告	ビタミンK_1からビタミンK_2(メナキノン-4)への変換機構に関与する側鎖切断酵素の探索　第68回日本薬学会近畿支部総会・大会　姫路　(2018/10/13)
Hirono J, Nakagawa K, Hasegawa H.	論文	Neuroreport, 2018, 29(3), 174-180. doi: 10.1097/WNR.0000000000000946."Expression of Tissue Inhibitor of Metalloproteinases and Matrix Metalloproteinases in the Ischemic Brain of Photothrombosis Model Mice" 査読有り
Nakagawa K, Okubo Y, Masuyama R.	論文	Curr Oral Health Rep, 2018, 5, 89-95."Vitamin Status and Mineralized Tissue Developmente" 査読有り
鎌尾まや、長嶺幸子、岩川精吾、北河修治	学会報告	神戸薬科大学薬剤師生涯研修支援事業であるシンポジウムにおける10年間の受講者調査　日本薬学会第138年会　金沢　(2018/3/28)
津川尚子、小笠原帆南、堤彩香、中塚はつき、吉田みのり、鎌尾まや	学会報告	若齢ラットの血中25-Hydroxyvitamin D_3濃度に対するvitamin D_3および25-hydroxyvitamin D_3の補給効果ならびにカルシウム摂取量の影響　日本ビタミン学会第70回大会　高槻 (2018/6/22)
鎌尾まや	講演	いきいきと元気に暮らすための骨の健康のお話　神戸薬科大学第15回健康サポートセミナー　神戸 (2018/12/3)
Shearer M.J. and Okano T.	総説	Annu. Rev. Nutr. **38**: 127-151, 2018 "Key pathways and regulators of vitamin K function and intermediary metabolism" 査読あり
渭原 博、 木内　幸子、西村　基、野村　文夫、山下　峰、北島　勲、津川　尚子、岡野　登志夫、廣田　晃一、三浦　雄一、戸谷　誠之、橋詰　直孝、伊藤　昭三、登勉、長村　洋一、石橋　みどり、前川　真人、青木　芳和、大橋　鉱二、太田　好次	総説	臨床化学　**47**: 413-424, 2018 "自動分析法による血清総25ヒドロキシビタミンD測定値の標準化に関する現状調査"査読あり
Hirota Y., Nakagawa K., Isomoto K., Sakaki T., Kubodera N., Kamao M., Osakabe N., Suhara Y., Okano T.	論文	PLoS One. 2018 Oct 3;13(10):e0199856. doi: 10.1371/journal.pone.0199856. eCollection 2018 "Eldecalcitol is more effective in promoting osteogenesis than alfacalcidol in Cyp27b1-knockout mice" 査読有り
Ohta T., Kuroda T., Tsugawa N., Onoe Y., Okano T., Shiraki M.	論文	J. Bone Miner. Metab. **36**: 620-625, 2018 "Optimal vitamin D intake for preventing serum 25-hydroxyvitamin D insufficiency in young Japanese women" 査読有り
Ihara H., Kiuchi S., Ishige T., Nishimura M., Matsushita K., Satoh M., Nomura F., Yamashita M., Kitajima I., Tsugawa N., Okano T., Hirota K., Miura M., Totani M., Hashizume N.	論文	Ann. Clin. Biochem. **55**(6): 647-656,2018."Surveillance evaluation of the standardization of assay values for serum total 25-hydroxyvitamin D concentration in Japan" 査読あり
児玉典子	編著	感染制御学 (2018) 京都廣川書店
児玉典子、細川美香、田中将史、藤波綾、小山淳子、竹内敦子	学会報告	ジグソー法を用いた薬学英語学習に関する学力層別学習意識調査結果について 日本薬学会第138年会　金沢 (2018/3/28)
合田奈央、加藤比奈子、野中いつき、森花恵、水上知咲、小山淳子、和田昭盛、児玉典子	学会報告	自信を取り戻すFlipped peer learningの学習経験を通して　―多様性 (diversity) がもたらすpositive効果をアンケート調査結果から考察する－　日本薬学会第138年会　金沢 (2018/3/28)
児玉典子、西村克己、内田吉昭、川西和子、安岡由美、小山淳子、佐子綾香、和田昭盛	学会報告	クリッカーを活用した研修会参加前後における気分と意欲の変化及び関連性 日本薬学教育学会第3回大会　東京 (2018/9/2)
Takenaka Y., Tanahashi T.	論文	Phytochemistry Letters, 2018, 26, 64-67, "Biosynthetic origin of alkylated decaline-type polyketides and induction of a new metabolite by addition of benzoate in cultured mycobionts of Pyrenula sp." 査読有り

Nishimura K. Horii S. Tanahashi T.	論文	Heterocycles 2018, 97 (2), 865-876, “Asymmetric Synthesis of O-Methylneferine” 査読有り
児玉典子、細川美香、 藤波綾、 小山淳子、	論文	薬学教育, 2018, 2, 167-174, “薬学英語学習の過程で生じる正感情と影響要因の検討 ―動機づけ予測に関連した感情の観点からの考察―” 査読有り
児玉典子、小山淳子	論文	Libra, 2018, 18, 45-57 “チーム基盤型学習におけるピア評価の重要性の 認識及び関連因子の探索” 査読無し
田中将史	学会報告	リン脂質－合成高分子複合ナノ粒子の調製と機能性評価　第10回機能性材料勉強会　神戸　(2018/3/15)
Masafumi Tanaka, Toru Kawakami, Toshiyuki Yamada, Takahiro Mukai	学会報告	Effect of Carboxyl-Terminal Truncation on Amyloid Fibril Formation of Human Serum Amyloid A　16th International Symposium on Amyloidosis　Kumamoto　(2018/3/29)
林　亜紀、中原　美香、出口　理美、中山　尋量	学会報告	アセトニトリルを用いた炭酸型層状複水酸化物によるカルボン酸化合物のインターカレーション　第98回日本化学会　船橋 (2018/3/21)
前田　秀子、小幡　早季子、中山　尋量	学会報告	シクロデキストリンによるエクオールの水溶性向上と抗酸化作用への影響　第138日本薬学会年会　金沢 (2018/3/28)
前田　秀子、室川　綾華、守田　香織、成相　裕之、中山　尋量	学会報告	浸透性向上のための美白成分のリン酸化の検討　第27回日本無機リン化学討論会　春日井 (2018/8/31)
Tanaka M., Kawakami T., Okino N., Sasaki K., Nakanishi K., Takase H., Yamada T., Mukai T.	論文	Arch. Biochem. Biophys., 2018, 639, 9-15. doi: 10.1016/j.abb.2017.12.016. “Acceleration of Amyloid Fibril Formation by Carboxyl-Terminal Truncation of Human Serum Amyloid A” 査読有り
Tanaka M., Hosotani A., Mukai T.	論文	J. Labelled Comp. Radiopharm., 2018, 61(11), 857-863. doi: 10.1002/jlcr.3668. “Indium-111 Labeling of High-Density Lipoprotein-Mimicking Phospholipid-Styrene Maleic Acid Copolymer Complexes and Its Biodistribution in Mice” 査読有り
Maeda H., Obata S,, Nakayama H.	論文	J. Inclusion Phenom., 91(3-4), 125-131 (2018).″Preparation and Characterization of the Inclusion Complexes of Equol with Sulfobutylether-beta-cyclodextrin: Their Antioxidant Activity and Dissolution Evaluation″査読有り
Maeda H., Tuchida S,, Nariai H., Nakayama H.	論文	Phosphorus Res. Bull, 34, 9-13 (2018). ″Phosphorylation of Hydroxyproline with Trisodium cylo-Triphosphate and Evaluation of their Moisture Retaining Property″査読有り
大橋　憲太郎、松本　詩織、境　崇行、平田　洋子、奥田　健介、永澤　秀子	学会報告	第24回癌治療増感研究会in雲仙、血清およびグルコース欠乏状態での小胞体関連分解因子におけるフェンホルミン誘導体の効果に関する研究　雲仙　2018/5/26
井川　貴詞、Sun JingKai、高木 晃、赤井周司	学会報告	第44回反応と合成の進歩シンポジウム、市販のフェニルボロン酸誘導体からの新規ベンザイン発生法　熊本 2018/11/6
Oh-hashi K., Matsumoto S., Sakai T., Nomura Y., Okuda K., Nagasawa H., Hirata Y.	論文	Cell Biol. Toxicol., 2018, 34(4), 279-290. doi: 10.1007/s10565-017-9410-0. ″Elucidating the rapid action of 2-(2-Chlorophenyl)ethylbiguanide on HT-29 cells under a serum- and glucose-deprived condition″　査読有り
髙尾宜久、岩川精吾、北河修治	学会報告	神戸薬科大学地域連携サテライトセンターにおける健康サポートセミナー　日本薬学会第138年会　金沢 (2018/3/28)
髙尾宜久	講演	お薬を飲むときに気を付ける事　認知症予防・支え合いのサポーター養成講座　神戸 (2018/1/20)
髙尾宜久	講演	在宅における内服管理の問題点　近畿中央病院院内医療安全研修会　伊丹 (2018/2/8)
髙尾宜久	講演	知っておきたい、うっかりドーピングの話　第7回関西スポーツ内科・栄養セミナー　大阪 (2018/3/17)
内田吉昭	著書	『グラフ理論ワークブック』内田　吉昭　(日本評論社)
Itoh K., Nishioka S., Kobayashi I., Matsuzaki Y., Iino K., Nadanaka S., Kasashima-Sumitani M., Hidaka T., Tsuji D., Sezutsu H., Kitagawa H., Yamamoto K.	学会報告	A novel glycotechnology to produce human lysosomal enzymes carrying synthetic N-glycans with terminal mannose 6-phosphate residues and application to enzyme placement therapy for lysosomal diseases. 14th ANNUAL WORLD Symposium U.S.A. (2018/2/5-9)
志田　美春、三上　雅久、北川　裕之	学会報告	高硫酸化コンドロイチン硫酸Dによる神経突起伸長促進機構の解析 第37回日本糖質学会年会　仙台　(2018/8/28-30)
内藤　裕子、佐藤　伴、北川　裕之	学会報告	コンドロイチン硫酸欠損によるマウス着床前胚の細胞質分裂阻害 第37回日本糖質学会年会　仙台　(2018/8/28-30)
灘中　里美、北川　裕之	学会報告	EXT-like2によるエンドサイトーシスを介したFGF2シグナルの制御機構　第37回日本糖質学会年会　仙台　(2018/8/28-30)
伊藤　孝司、西岡　宗一郎、小林　功、笠嶋　めぐみ、立松　謙一郎、瀬筒　秀樹、松崎　祐二、飯野　健太、木下　崇司、堂崎　雅仁、灘中　里美、北川　裕之	学会報告	エンドグリコシターゼと機能性合成N型糖鎖を利用するネオ糖タンパク質医薬品の開発を目指して　第71回日本生物工学会大会　大阪 (2018/9/7)

赤坂-萬谷　啓子、灘中　里美、近藤　嘉高、萬谷　博、石神　昭人、北川　裕之、遠藤　玉夫	学会報告	a-Klothoマウス肺で見られるヘパラン硫酸の発現変化　第91回日本生化学会大会　京都　(2018/9/24-26)
武智　美奈、大島　健司、灘野　大太、松田　幹、佐藤　ちひろ、北島　健、北川　裕之、宮田　真路	学会報告	胎生期の大脳皮質において形成されるヒアルロン酸を含む細胞外マトリクスの局在と機能解析　第91回日本生化学会大会　京都　(2018/9/24-26)
武間　美沙樹、内藤　裕子、佐藤　伴、北川　裕之	学会報告	コンドロイチン硫酸を介したマウス着床前胚の細胞質分裂制御　第68回日本薬学会近畿支部総会-大会　姫路　(2018/10/13)
三上　雅久、北川　裕之	総説	日本応用酵素協会誌, 2018, No.53, 1-10. ″コンドロイチン硫酸の発現調節酵素による骨格筋分化・再生制御″　査読無し
北川　裕之	講演	大切なコンドロイチン硫酸・ヒアルロン酸のお話　神戸薬科大学エクステンション事業福岡支部第60回研修会　福岡　(2018/2/18)
北川　裕之	講演	コンドロイチン硫酸による乳がん細胞の浸潤と増殖の制御機構　第91回日本生化学会大会　京都　(2018/9/25)
灘中　里美、北川　裕之	講演	The biological significance of developmental trajectories of glycosaminoglycan 第91回日本生化学会大会　京都　(2018/9/24)
北川　裕之	講演	コンドロイチン硫酸の発現調節酵素による骨格筋分化・再生制御　酵素研究会第44回研究発表会　大阪 (2018/11/19)
北川　裕之	講演	コンドロイチン硫酸鎖による新たな細胞増殖の制御機構　第16回糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム　東京 (2018/11/27)
Kitagawa H.	講演	Deciphering the structural and functional diversity of chondroitin sulfate chains in the brain. Controlling neuronal plasticity; developmental disorders and repair Prague (2018/12/6-7)
三上　雅久、北川　裕之	著書	未来を創るグライコサイエンス 我が国のロードマップ（日本糖鎖科学コンソーシアム編）pp80-81. ″骨疾患″　査読有り
灘中　里美、北川　裕之	著書	未来を創るグライコサイエンス 我が国のロードマップ（日本糖鎖科学コンソーシアム編）pp217-219. ″遺伝子改変マウス：グリコサミノグリカン″　査読有り
Miyata S., Nadanaka S., Igarashi M., Kitagawa, H.	論文	Front. Integr. Neurosci., 2018, 12, 3. doi: 10.3389/fnint.2018.00003. ″Structural variation of chondroitin sulfate chains contributes to molecular heterogeneity of perineuronal nets″ 査読有り
Nadanaka S., Kitagawa, H.	論文	Biochim. Biophys. Acta, 2018, 1862, 791-799. doi:10.1016/j.bbagen.2018.01.002. ″Exostosin-like 2 regulates FGF2 signaling by controlling the endocytosis of FGF2″ 査読有り
Nadanaka S., Kinouchi H., Kitagawa H.	論文	J. Biol. Chem., 2018, 293, 444-465. doi:10.1074/jbc.M117.814509. ″Chondroitin sulfates-mediated N-cadherin/β-catenin signaling associated with basal-like breast cancer cell invasion″ 査読有り
Matsushita K., Nakata T., Takeda-Okuda N., Nadanaka S., Kitagawa H., Tamura J.	論文	Bioorg. Med. Chem., 2018, 26, 1016-1025. doi.org/10.1016/j.bmc.2018.01.011.″Synthesis of chondroitin sulfate CC and DD tetrasaccharides and interactions with 2H6 and LY111″ 査読有り
Yamada J, Nadanaka S, Kitagawa H, Takeuchi K, Jinno S.	論文	J. Neurosci., 2018, 38, 8496-8513. ″Increased synthesis of chondroitin sulfate proteoglycan promotes adult hippocampal neurogenesis in response to enriched environment″ 査読有り
田中晶子、井上大輔、古林呂之、勝見英正、坂根稔康、山本　昌	学会報告	「薬物の経鼻吸収予測システムの開発:*in vitro* 評価系に用いる細胞の比較」、日本薬学会第138年会、金沢(2018/3/24)
古林呂之、小林正樹、松原嘉子、井上大輔、田中晶子、勝見英正、山本 昌、湯谷玲子、寺岡麗子、坂根稔康	学会報告	「α-Galactosylceramideの鼻粘膜透過性改善を目指した製剤最適化に関する検討」、日本薬学会第138年会、金沢(2018/3/24)
羽澤知穂、寺岡麗子、都出千里、湯谷玲子、坂根稔康	学会報告	「種々のカルバマゼピン-ジカルボン酸共結晶の光安定性比較」、日本薬学会第138年会、金沢(2018/3/24)
山下修吾、勝見英正、森下将輝、坂根稔康、山本　昌	学会報告	「アスパラギン酸修飾に基づく骨指向性デンドリマー型ナノミセルの開発及びパクリタキセルによる骨転移治療への応用」、」、日本薬剤学会第33年会、静岡(2018/5/30)
井上大輔、田中晶子、勝見英正、山本昌、湯谷玲子、坂根稔康、古林呂之	学会報告	「鼻腔内投与による脳への薬物送達IV:Microdialysis法による脳移行性の定量評価」、日本薬剤学会第33年会、静岡(2018/5/31)
辻村真里、草森浩輔、勝見英正、坂根稔康、山本　昌、西川元也	学会報告	「安全な細胞移植治療の実現に向けた細胞増殖制御法の開発」、日本薬剤学会第33年会、静岡(2018/5/31)
田中晶子、井上大輔、古林呂之、勝見英正、坂根　稔康、山本　昌	学会報告	「鼻腔内投与後の脳への薬物移行:薬物物性と投与剤形との関係」、日本薬剤学会第33年会、静岡(2018/6/1)
木村峻輔、西村英里香、坂田詩織、坂根稔康、喜里山暁子	学会報告	「薬物の溶解に依存しない吸収メカニズムを基盤とする薬物吸収改善方法の開発」、日本薬剤学会第33年会、静岡(2018/6/1)

古林呂之、清原万美子、井上大輔、森山圭、田中晶子、勝見英正、山本　昌、湯谷玲子、坂根稔康	学会報告	「ラマン分光法を利用した粉末状薬物の経鼻吸収性推定法の構築Ⅱ　～培養細胞上での溶解パターン評価～」、日本薬剤学会第33年会、静岡（2018/6/1）
坂根稔康、田中晶子、　湯谷玲子、井上大輔、古林呂之、勝見英正、山本　昌	学会報告	「鼻腔内投与による生理活性ペプチドの脳内送達」、第34回日本DDS学会学術集会、長崎（2018/6/21）
堺　香輔、勝見英正、杉浦真優、釜野健太郎、山内基誉、丹波綾香、坂根稔康、山本昌	学会報告	「高分子型硫化水素プロドラッグの開発と急性肝炎治療への応用」、第34回日本DDS学会学術集会、長崎（2018/6/21）
木村 峻輔、西村 英里香、坂田 詩織、坂根稔康、喜里山 暁子	学会報告	「薬物の溶解に依存しない粘膜吸収メカニズムを基盤とする薬物吸収改善方法の開発」、第34回日本DDS学会学術集会、長崎（2018/6/21）
田中晶子、井上大輔、古林呂之、勝見英正、湯谷玲子、坂根稔康、山本　昌	学会報告	「粉末製剤投与後の薬物の経鼻吸収性に対するムチンの影響」、第34回日本DDS学会学術集会、長崎（2018/6/21）
井上大輔、田中晶子、勝見英正、山本昌、湯谷玲子、坂根稔康、古林呂之	学会報告	「鼻腔内投与による脳への薬物送達V：脳内各部位の個別評価に基づく鼻腔－脳間の薬物移行メカニズムの解析」、第34回日本DDS学会学術集会、長崎（2018/6/22）
松浦　悟、勝見英正、鈴木宏枝、林　英誉、平井菜都子、坂根稔康、山本　昌	学会報告	「セリン修飾を利用した腎ターゲティング型高分子キャリアーの創製」、第34回日本DDS学会学術集会、長崎（2018/6/22）
高山幸也、草森浩輔、勝見英正、坂根稔康、山本　昌、西川元也	学会報告	「ドキソルビシン封入リポソーム修飾間葉系幹細胞の抗腫瘍効果」、第34回日本DDS学会学術集会、長崎（2018/6/22）
古林呂之、井上大輔、小林正樹、勝見英正、山本　昌、田中晶子、湯谷玲子、坂根稔康	学会報告	「鼻腔内投与によるα-Galactosylceramideの頸部リンパ節への直接送達に関する検討」、第34回日本DDS学会学術集会、長崎（2018/6/22）
西村菜菜、辻中映美、田中晶子、湯谷玲子、坂根稔康、四方田千佳子	学会報告	「ロキソプロフェン含有一般用医薬品の溶出挙動の比較」、日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会　第12会学術大会、京都（2018/8/25）
田中晶子、高山健太郎、井上大輔、古林呂之、勝見英正、山本　昌、湯谷玲子、林良雄、坂根稔康	学会報告	「生理活性ペプチドの鼻腔内投与による脳への送達と中枢疾患治療への応用「、第27回DDSカンファランス、静岡（2018/9/7）
田中晶子、井上大輔、古林呂之、湯谷玲子、勝見英正、山本　昌、坂根稔康	学会報告	「鼻腔内投与による oxytocin の脳内送達」、第23回創剤フォーラム若手研究会、神戸（2018/9/9）
井上大輔、田中晶子、湯谷玲子、坂根稔康、古林呂之	学会報告	「鼻腔内投与による薬物の効率的脳内送達システムの開発：脳部位別評価に基づく脳移行メカニズムの解明」、第23回創剤フォーラム若手研究会、神戸（2018/9/9）
柴谷恭佑、明石華奈、田中晶子、湯谷玲子、坂根稔康	学会報告	「薬物の消化管吸収に対する消化管内容物の影響」、第23回創剤フォーラム若手研究会、神戸（2018/9/9）
瀬分修平、寺岡麗子、松島由貴、田中晶子、湯谷玲子、坂根稔康	学会報告	「酸化チタン含有フィルムコーティング膜中の可塑剤が錠剤の製剤特性に及ぼす影響」、第68回日本薬学会近畿支部総会・大会、姫路（2018/10/13)
松田芳明、遠山裕太、田中晶子、湯谷玲子、寺岡麗子、坂根稔康	学会報告	「薬物の口腔粘膜を介した吸収：鼻腔内投与後の薬物吸収との比較」、第68回日本薬学会近畿支部総会・大会、姫路（2018/10/13）
西村菜菜、辻中映美、田中晶子、湯谷玲子、坂根稔康、四方田千佳子	学会報告	「スイッチOTC解熱鎮痛薬の溶出性の比較検討」、第68回日本薬学会近畿支部総会・大会、姫路（2018/10/13）
宍戸 康剛、湯谷 玲子、寺岡 麗子、坂根 稔康	学会報告	「混合調剤がサリチル酸ワセリン軟膏の特性および主薬の皮膚透過性に及ぼす影響」、第28回日本医療薬学会年会、神戸（2018/11/23）
寺岡　麗子、矢倉 裕輝、出口 千裕、湯谷 玲子、坂根 稔康	学会報告	「テノホビルアラフェナミドフマル酸塩を含有するデシコビ配合錠の簡易懸濁法適用時の安定性」、第28回日本医療薬学会年会、神戸（2018/11/24）
加藤 薫、湯谷 玲子、寺岡 麗子、坂根 稔康	学会報告	「亜鉛華単軟膏のレオロジー特性と混合性に及ぼす保存温度の影響、第28回日本医療薬学会年会、神戸（2018/11/24）
Shunsuke Kimura, Akiko Kiriyama, Kaeko Araki, Mai Yoshizumi, Masakazu Enomura, Daisuke Inoue, Tomoyuki Furubayashi, Reiko Yutani, Reiko Teraoka, Akiko Tanaka, Kosuke Kusamori, Hidemasa Katsumi, Akira Yamamoto, Katsumi Iga, Toshiyasu Sakane	論文	*Eur. J. Pharm. Biopharm.* , 2018, **122**, 1-5. "Novel strategy for improving the bioavailability of curcumin based on a new membrane transport mechanism that directly involves solid particles"　査読有
Xinpeng Li, Sachiyo Uehara, Kasirawat Sawangrat, Masaki Morishita, Kosuke Kusamori, Hidemasa Katsumi, Toshiyasu Sakane, Akira Yamamoto	論文	*Int. J. Pharm.* , **117**, 21-26. "Improvement of intestinal absorption of curcumin by cyclodextrins and the mechanisms underlying absorption enhancement"　査読有
Daisuke Inoue, Akiko Tanaka, Shunsuke Kimura, Akiko Kiriyama, Hidemasa Katsumi, Akira Yamamoto, Ken-ichi Ogawara, Toshikiro Kimura, Kazutaka Higaki, Reiko Yutani,Toshiyasu Sakane, Tomoyuki Furubayashi	論文	*Eur. J. Pharam. Sci.* , 2018, **117**, 21-26. "The relationship between in vivo nasal drug clearance and in vitro nasal mucociliary clearance: Application to the prediction of nasal drug absorption"　査読有

Akiko Tanaka, Tomoyuki Furubayashi, Mari Arai, Daisuke Inoue, Shunsuke Kimura, Akiko Kiriyama, Kosuke Kusamori, Hidemasa Katsumi, Reiko Yutani, Toshiyasu Sakane, Akira Yamamoto	論文	*Mol. Pharm.* , 2018, **15**, 1105-1111. "Delivery of Oxytocin to the Brain for the Treatment of Autism Spectrum Disorder by Nasal Application" 査読有
Shugo Yamashita, Hidemasa Katsumi, Toshiyasu Sakane, Akira Yamamoto	論文	*J. Drug Target* ., 2018, **26**, 818-828. "Bone-targeting dendrimer for the delivery of methotrexate and treatment of bone metastasis" 査読有
Mari Tsujimura, Kosuke Kusamori, Chihiro Oda, Airi Miyazaki, Hidemasa Katsumi, Toshiyasu Sakane, Makiya Nishikawa, Akira Yamamoto	論文	*J. Control. Release* , 2018, **26**, 818-828. "Regulation of proliferation and functioning of transplanted cells by using herpes simplex virus thymidine kinase gene in mice" 査読有
Tomohiro Umeda, Akiko Tanaka, Ayumi Sakai, Akira Yamamoto, Toshiyasu Sakane, Takami Tomiyama	論文	*Alzheimer's & Dementia* , 2018, **4**, 304-313. "Intranasal rifampicin for Alzheimer's disease prevention" 査読有
Shunsuke Kimura,a Akiko Kiriyama, Erika Nishimura, Shiori Sakata, Daisuke Inoue, Tomoyuki Furubayashi, Reiko Yutani, Akiko Tanaka, Kosuke Kusamori, Hidemasa Katsumi, Katsumi Iga, Akira Yamamoto and Toshiyasu Sakane	論文	*Biol. Pharm. Bull.* , 2018, **41**, 1769-1777. "Novel Strategy for the Systemic Delivery of Furosemide Based on a New Drug Transport Mechanism" 査読有
Akihito Kiguchiya, Reiko Teraoka and Toshiyasu Sakane	論文	*Chem. Pharm. Bull.* , 2048, **66**, 892-895. "Utility of Solid-State UV/Vis Spectra on the Evaluation of Photostability of Indomethacin Crystals" 査読有
Kosuke Sakai, Hidemasa Katsumi, Mayu Sugiura, Ayaka Tamba, Kentaro Kamano, Kiyo Yamauchi, Yosui Tamura, Toshiyasu Sakane, Akira Yamamoto	論文	*J. Pharm. Sci.* , **107**, 2686-2693. "Pharmacokinetics and Preventive Effects of Sulfo-Albumin as a Novel Macromolecular Hydrogen Sulfide Prodrug on CarbonTetrachloride-Induced Hepatic Injury" 査読有
Kasirawat Sawangrat, Masaki Morishita, Kosuke Kusamori, Hidemasa Katsumi, Toshiyasu Sakane, Akira Yamamoto	論文	*J. Pharm. Sci* ., **107**, 2946-2956. "Effects of Various Pharmaceutical Excipients on the Intestinal Transport and Absorption of Sulfasalazine, a Typical Substrate of Breast Cancer Resistance Protein Transporter" 査読有
Daisuke Inoue, Shunsuke Kimura, Akiko Kiriyama, Hidemasa Katsumi, Akira Yamamoto, Ken-ichi Ogawara, Kazutaka Higaki, Akiko Tanaka, Reiko Yutani, Toshiyasu Sakane and Tomoyuki Furubayashi	論文	*Mol. Pharm.* , 2018, **15**, 4462-4469. "Quantitative Estimation of the Effect of Nasal Mucociliary Function on in Vivo Absorption of Norfloxacin after Intranasal Administration to Rats" 査読有
Chihiro Naito, Hidemasa Katsumi , Tomoko Suzuki, Ying-shu Quan, Fumio Kamiyama, Toshiyasu Sakane and Akira Yamamoto	論文	*Pharmaceutics* , 2018, **10**, 215-226. "Self-Dissolving Microneedle Arrays for Transdermal Absorption Enhancement of Human Parathyroid Hormone (1-34)" 査読有
Satoru Matsuura, Hidemasa Katsumi , Hiroe Suzuki, Natsuko Hirai, Rie Takashima, Masaki Morishita, Toshiyasu Sakane and Akira Yamamoto	論文	*Pharmaceutics* , 2018, **10**, 251-260. "L-Cysteine and L-Serine Modified Dendrimer with Multiple Reduced Thiols as a Kidney-Targeting Reactive Oxygen Species Scavenger to Prevent Renal Ischemia/Reperfusion Injury" 査読有
Satoru Matsuura, Hidemasa Katsumi, Hiroe Suzukia, Natsuko Hirai, Hidetaka Hayashi, Kazuhiro Koshino, Takahiro Higuchi, Yusuke Yagi, Hiroyuki Kimura, Toshiyasu Sakane, and Akira Yamamoto	論文	*Proc. Natl. Acad. Sci. USA* , 2018, **115**, 10511-10516. "L-Serine–modified polyamidoamine dendrimer as a highly potent renal targeting drug carrier" 査読有
大山　浩之、肥越 ひかる、小林 奈津子、田口 歩維、比嘉 ひかり、森田 いずみ、小林 典裕	学会報告	抗Δ^9-テトラヒドロカンナビノールscFvの部位特異的変異導入による試験管内親和性成熟の試み 日本法中毒学会第37年会 品川（2018/7/6～7）
森田　いずみ、大山　浩之、田中　理恵、花尻（木倉） 瑠理、小林　典裕	学会報告	幻覚性キノコ成分シロシンのオンサイト分析を目的とする新規モノクローナル抗体の作製 日本法中毒学会第37年会 品川 （2018/7/6～7）
扇田　隆司、服部　恵美、古谷　優樹、森田　いずみ、大山　浩之、小林　典裕、斎藤　博幸	学会報告	新規モノクローナル抗体を用いたApo-AI高次構造変化の検出 フィジカルファーマフォーラム（PPF2018）三浦　（2018/9/4）
大山 浩之、木口 裕貴、森田 いずみ、小林 典裕	学会報告	新規な酵素融合型scFvを活用する繊維状ファージのサンドイッチELISA 日本分析化学会第67年会 仙台（2018/9/12）
古谷　優樹、服部　恵美、扇田　隆司、森田　いずみ、大山　浩之、小林　典裕、斎藤　博幸	学会報告	アミロイド構造を識別可能な新規モノクローナル抗体の開発 第8回4大学連携研究フォーラム 京都 （2018/11/20）
大山　浩之、市村　彰祥、木口　裕貴、森田　いずみ、小林　典裕	学会報告	抗チロキシンscFvールシフェラーゼ融合タンパク質の創製と生物発光ELISA への応用 日本薬学会第139年会 千葉 （2019/3/23）
森田　いずみ、大山　浩之、小栗　明莉、藤本　奈津美、田中　理恵、花尻（木倉） 瑠理、小林　典裕	学会報告	幻覚性キノコ成分のオンサイト分析を目的とする新規モノクローナル抗体の作製 日本薬学会第139年会 千葉 （2019/3/23）

木口　裕貴、大山　浩之、森田　いずみ、小林　典裕	学会報告	抗体の試験管内親和性成熟を迅速化する酵素融合型抗ファージscFvの作製　日本薬学会第139年会　千葉　(2019/3/23)
崎尾　奈美、森田　いずみ、柏原　圭佑、横田　朝香、大山　浩之、吉田　武美、上田　宏、小林　典裕	学会報告	メタンフェタミン第Ⅱ相代謝物に対する特異モノクローナル抗体産生の試み　日本薬学会第139年会　千葉　(2019/3/23)
中野　明日香、森川　真衣、木口　裕貴、大山　浩之、森田　いずみ、小林　典裕	学会報告	低 off-rate 指向アレイ型選択法による高親和力変異抗体の効率的単離　日本薬学会第139年会　千葉　(2019/3/23)
池田　穂高、片木　謙吾、宮脇　翔大、大山　浩之、森田　いずみ、小林　典裕	学会報告	共焦点レーザー顕微鏡によるscFv 提示ファージの可視化　日本薬学会第139年会　千葉　(2019/3/23)
森川　真衣、中野　明日香、木口　裕貴、大	学会報告	高親和力変異 scFv の創製におけるアレイ型選択法の有用性　日本薬学会第139年会　千葉　(2019/3/23)
小林　典裕、大山　浩之、森田　いずみ、木口　裕貴	講演	新世代の高性能イムノアッセイを目指す「抗体育種」 日本分析化学会第67年会 仙台　(2018/9/12)
Kiguchi Y., Oyama H., Morita I., Katayama E., Fujita M., Narasaki M., Yokoyama A., Kobayashi N.	論文	Biol. Pharm. Bull., 2018, 41(7), 1062-1070. doi:org/10.1248/bpb.b18-00162. "Antibodies and Engineered Antibody Fragments against M13 Filamentous Phage to Facilitate Phage-Display-Based Molecular Breeding" 査読有り
Morita I., Oyama H., Kanda Y., Yasuo M., Ito A., Toyota M., Hayashi Y., Yokoyama T., Kobayashi N.	論文	Biol. Pharm. Bull., 2018, 41(1), 123-131. doi:org/10.1248/bpb.b17-00762. " Enantioselective Monoclonal Antibodies for Detecting Ketamine to Crack Down on Illicit Use" 査読有り
北河　修治、山野　由美子	解説	果物の色に秘められた巧みな力①　バナナ　大塚薬報 2018, 6月, No.736, 30-33.
北河　修治、山野　由美子	解説	果物の色に秘められた巧みな力②　すいかとメロン　大塚薬報 2018, 7・8月, No.737, 28-31.
北河　修治、山野　由美子	解説	果物の色に秘められた巧みな力③　いちごとベリー　大塚薬報 2018, 9月, No.738, 28-31.
北河　修治、山野　由美子	解説	果物の色に秘められた巧みな力④　ぶどう　大塚薬報 2018, 10月, No.739, 32-35.
沖津　貴志、堀家　有理紗、和田　昭盛	学会報告	アミノ酸ユニットのaza-Michael付加反応による対称ジエノンの非対称化　日本薬学会第138年会 金沢　(2018/3/27)
沖津　貴志、吹上　愛、和田　昭盛	学会報告	イナミドのヨード環化反応を用いたスピロ環の即時合成　日本薬学会第138年会 金沢　(2018/3/27)
山野　由美子、笹木　春奈、和田　昭盛	学会報告	3,5-ジニトロベンゾイル基のアミンによる温和なメタノリシスとCBP-フェロモン合成への応用　日本薬学会第138年会 金沢 (2018/3/27)
和田　昭盛、藤原　智、上西　郁穂、沖津　貴志、山野　由美子	学会報告	2*H*-クロメン骨格を有する9*Z*-レチノイン酸アナログの合成　日本ビタミン学会第70回大会　高槻　(2018/6/23)
加賀谷　航平、長尾　遼、沈　建仁、山野　由美子、高市　真一、秋本　誠志	学会報告	ジアジノキサンチンサイクルを構成するカロテノイドの励起緩和ダイナミクス　光合成セミナー2018 神戸　(2018/7/21)
加賀谷　航平、山野　由美子、高市　真一、秋本　誠志	学会報告	長い共役を持ったケトカロテノイドの励起緩和ダイナミクス　光化学討論会　西宮　(2018/9/5)
水野　操、水谷　泰久、佐藤　恵太、大内淑代、山下　高廣、酒井　佳寿美、今元泰、七田　芳則、山野　由美子、和田　昭盛	学会報告	脊椎動物がもつ新規光センサーOpn5L1の不活性状態の発色団構造　第12回分子科学討論会　福岡　(2018/9/10)
Mizuno M., Mizutani Y., Sato K., Ohuchi H., Yamashita T., Sakai K., Imamoto Y., Shichida Y., Yamano Y., Wada A.	学会報告	Chromophore structure in an inactive state of a novel photosensor Opn5L1 of vertebrates　18th International Conference on Retinal Proteins Canada (2018/9/25-29)
Yamashita T., Sato K., Kojima K., Sakai K., Matsutani Y., Yanagawa M., Yamano Y., Wada A., Iwabe N., Ohuchi H., Shichida Y.	学会報告	Pinopsin acts as a scotopic visual pigment in lower vertebrates　18th International Conference on Retinal Proteins Canada (2018/9/25-29)
沖津　貴志、中東　光、杉原　遼祐、福田一起、辻　早季、尹　康子、和田　昭盛	学会報告	シリル基を配向基とするホモプロパルギルカルバメートおよびアミドの6-*exo*-*dig*型ヨード環化反応　第68回日本薬学会近畿支部総会・大会　姫路　(2018/10/13)
和田　昭盛、竹永　駿輝、大野　恵美、山野　由美子、松浦　知和	学会報告	13位^{13}C-レチニルエステルの効率的な合成法の開発　第62回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会　長崎　(2018/10/13)
和田　昭盛、山野　由美子	学会報告	13位を13Cラベルした11,12-ジヒドロレチナールの合成　日本レチノイド研究会第29回学術集会　熊本　(2018/10/27)
沖津　貴志、赤銅　麻鈴、竹内　沙弥、和田　昭盛	学会報告	σ-求核剤による3-メチレン-4-アミド-1,2-ジアゼチジンの求核的開環反応　第44回反応と合成の進歩シンポジウム　熊本 (2018/11/5)
Yamano Y., Masumoto M., Takaichi S., Wada A.	論文	Tetrahedron 2018, 74(13), 1533-1539. doi: 10.1016/j.tet.2018.02.018. ″Total synthesis of myxol and deoxymyxol stereoisomers and their application to determining the absolute configurations of the natural products″ 査読有り

Maeda R., Hiroshima M., Yamashita T., Wada A., Sako Y., Shichida Y., Imamoto Y.	論文	J. Phys. Chem. B 2018, 122(18), 4838-4843. doi: 10.1021/acs.jpcb.8b02819. "Shift in Conformational Equilibrium Induces Constitutive Activity of G-Protein-Coupled Receptor, Rhodopsin" 査読有り
Takayama R., Kaneko A., Okitsu T., Tsunoda S. P., Shimono K., Mizuno M., Kojima K., Tsukamoto T., Kandori H., Mizutani Y., Wada A., Sudo Y.	論文	J. Phys. Chem. Lett. 2018, 9(11), 2857-2862. doi: 10.1021/acs.jpclett.8b00879. "Production of a Light-Gated Proton Channel by Replacing the Retinal Chromophore with Its Synthetic Vinylene Derivative" 査読有り
Makino Y., Kawamura I., Okitsu T., Wada A., Kamo N., Sudo Y., Ueda K., Naito A.	論文	Biophys. J. 2018, 115(1), 72-83. doi: 10.1016/j.bpj.2018.05.030. "Retinal Configuration of *p*pR Intermediates Revealed by Photoirradiation Solid-State NMR and DFT" 査読有り
Chen H.-F., Inoue K., Ono H., Abe-Yoshizumi R., Wada A., Kandori H.	論文	Phys. Chem. Chem. Phys. 2018, 20(26), 17694-17704. doi: 10.1039/C8CP02599A. "Time-resolved FTIR study of light-driven sodium pump rhodopsins" 査読有り
Shen Y.-C., Sasaki T., Matsuyama T., Yamashita T., Shichida Y., Okitsu T., Yamano Y., Wada A., Ishizuka T., Yawo H., Imamoto Y.	論文	Biochemistry 2018, 57(38), 5544-5556. doi: 10.1021/acs.biochem.8b00583. "Red-Tuning of Channelrhodopsin Spectrum Using Long Conjugated Retinal Analogues" 査読有り
Okitsu T., Nakahigashi H., Sugihara R., Fukuda I., Tsuji S., In Y., Wada A.	論文	Chem. Eur. J. 2018, 24(70), 18638-18642. doi: 10.1002/chem.201804794. "Silyl Group-Directed 6-*exo*-*dig* Iodocyclization of Homopropargylic Carbamates and Amides" 査読有り
Sato K., Yamashita T., Kojima K., Sakai K., Matsutani Y., Yanagawa M., Yamano Y., Wada A., Iwabe N., Ohuchi H., Shichida Y.	論文	Comm. Biol. 2018, 1, 156. doi: 10.1038/s42003-018-0164-x. "Pinopsin evolved as the ancestral dim-light visual opsin in vertebrates" 査読有り
Koizumi J., Takatani N., Kobayashi N., Mikami K., Miyashita K., Yamano Y., Wada A., Maoka T., Hosokawa M.	論文	Mar. Drugs 2018, 16(11), 426. doi: 10.3390/md16110426. "Carotenoid Profiling of a Red Seaweed *Pyropia yezoensis*: Insights into Biosynthetic Pathways in the Order Bangiales" 査読有り
竹内　敦子、西尾　久英、齊藤　利雄、篠原　正和	トピックス	BIO Clinica, 2018, 33(12), 1171-1175, "脊髄性筋萎縮症 : SMN1 遺伝子非欠失患者の分子病態"
寳田　徹、塩見　のぞみ、都出　千里、竹内　敦子	学会報告	スプライシングを制御するタンパク質CUG-BP1の挙動　日本薬学会第138年会　金沢　(2018/3/28)
吉野　健一、宇佐見　至、竹内　敦子	学会報告	化学修飾トリプシン由来想定外断片スペクトルライブラリーを利用した誤同定防止法　日本質量分析学会・日本プロテオーム学会2018年合同大会　大阪　(2018/5/15)
竹内　敦子、長瀬　明子、寳田　徹	学会報告	Resveratrolの安定性評価と細胞内での代謝物解析　日本質量分析学会・日本プロテオーム学会2018年合同大会　大阪　(2018/5/15)
Takeuchi　A.	学会報告	Evaluation of UDP-glucuronosyltransferase 1A1 activity towards bilirubin　22nd International Mass Spectrometry Conference　フローレンス　(2018/8/27)
竹内　敦子	講演	「日々の測定・装置・維持管理」ESIとAPCIはどう使い分けるの？第14回質量分析技術者研究会　生駒　(2018/7/18)
吉野　健一、宇佐見　至、竹内　敦子	講演	化学修飾トリプシンスペクトルライブラリーを利用して 想定外断片の誤同定を防止する方法　第24回質量分析学会北海道談話会・研究会　札幌　(2018/10/15)
Sato K., Yamashita T., Ohuchi H., Takeuchi A., Gotoh H., Ono K., Mizuno M., Mizutani Y., Tomonari S., Sakai K., Imamoto Y., Wada A., Shichida Y.	論文	Nat. Commun., 2018, 9(1), 1255. doi: 10.1038/s41467-018-03603-3. "Opn5L1 is a retinal receptor that behaves as a reverse and self-regenerating photoreceptor" 査読あり
石垣 大地,中山 喜明, 土居 晃平, 楢林 桃子, 中牟田 絢佳, 迎 武紘, 増田 有紀, 伊藤 信行, 小西 守周	学会報告	分泌型ヘムタンパク質 Neudesin によるマクロファージ調節機構の解析　第19回Pharmaco-Hematologyシンポジウム　東京 (2018/8/10)
中山　喜明, 土居　晃平, 楢林　桃子, 石垣　大地, 中牟田　絢佳, 松井　佑莉, 迎　武紘, 増田　有紀, 伊藤　信行, 小西　守周	学会報告	分泌型ヘム結合タンパク質Neudesin遺伝子欠損マウスは赤血球代謝亢進と貯蔵鉄減少を示す　日本薬学会第138年会 金沢 (2018/3/26)
迎 武紘	学会報告	傍分泌因子ニューデシンを介する交感神経制御および肥満調節機構の解明　第23回アディポサイエンス・シンポジウム　大阪 (2018/8/18)
中山　喜明, 土居　晃平, 楢林　桃子, 石垣　大地, 中牟田　絢佳, 松井　佑莉, 迎　武紘, 増田　有紀, 伊藤　信行, 小西　守周	学会報告	分泌型ヘムタンパク質Neudesin遺伝子欠損マウスは赤血球代謝亢進と脾臓における貯蔵鉄減少を示す　第41回日本分子生物学会年会　横浜　(2018/11/28)

Naosuke Nakamura, Yuki Tsujimoto, Yoshiaki Nakayama, Morichika Konishi, and Akira Kurosaka	学会報告	Phenotypic analysis of double mutants that lack vertebrate-specific polypeptide α-N-acetylgalactosaminyltransferase genes 第41回日本分子生物学会年会　横浜　(2018/11/28)
Yuan X., Tsujimoto K., Hashimoto K., Kawahori K., Hanzawa N., Hamaguchi M., Seki T., Nawa M., Ehara T., Kitamura Y., Hatada I., Konishi M., Itoh N., Nakagawa Y., Shimano H., Takai-Igarashi T., Kamei Y., Ogawa Y.	論文	Nat. Commun., 2018, 9(1), 636. doi: 10.1038/s41467-018-03038-w."Epigenetic modulation of Fgf21 in the perinatal mouse liver ameliorates diet-induced obesity in adulthood." 査読有り
Masahiro Kimura, Kumiko Kosuge, Yui Ko, Noriko Tagawa, Ikuo Kato and Yoshiki Uchida.	学会報告	Potent Antibacterial Activity of Peptides Designed from Salusin-β and HIV-1 Tat(49-57). The 10th International Peptide Symposium / The 55th Japanese Peptide Symposium(Kyoto)(2018/12/5).
佐藤玲菜、多河典子、加藤郁夫、光本泰秀	学会報告	急性拘束ストレス負荷マウスにおけるRubiscolin-6の抗うつ効果。日本薬学会北陸支部大30回例会（富山）（2018/11/18）。
多河 典子、浅川 明弘、藤波 綾、乾 明夫、加藤 郁夫	学会報告	マウス脂肪組織におけるnesfatin-1の発現・分泌促進について。第91回日本内分泌学会学術総会（宮崎）（2018/4/26）。
多河 典子、浅川 明弘、藤波 綾、乾 明夫、加藤 郁夫	学会報告	肥満モデルマウスの視床下部及び脂肪組織での新規エネルギー代謝関連ペプチドの発現について。第58回日本臨床化学会年次学術集会（名古屋）（2018/8/24）。
多河 典子、中張 隆司、浅野 真司、桑原 厚和、丸中 良典、加藤 郁夫	学会報告	消化管ホルモンxeninのELISA法の開発。　日本薬学会第139年会（千葉）（2019/3/23）。
M. Kapica, I. Puzio, I. Kato, A. Kuwahara, R. Zabielski and H. Antushevich.	論文	J. Anim. Feed. Sci., 27, 2018, 155-162, doi: https://doi.org/10.22358/jafs/89734/2018 Exogenous obestatin affects pancreatic enzyme secretion in rat through two opposite mechanisms, direct inhibitionand vagally-mediated stimulation.
Monika Słupecka-Ziemilska, Paulina Grzesiak, Michał Jank, Alicja Majewska, Agnieszka Rak, Paweł Kowalczyk, Ikuo Kato, Atsukazu Kuwahara, Jarosław Woliński.	論文	PLoS One, 2018, 13(10)：e0205994, doi: 10.1371/journal.pone.0205994. eCollection 2018. Small intestinal development in suckling rats after enteral obestatin administration.
Shigekuni Hosogi, Masahiro Ohsawa, Ikuo Kato, Atsukazu Kuwahara, Toshio Inui, Akio Inui and Yoshinori Marunaka.	論文	Front. Nutr., 2018, 5：112, doi: 10.3389/fnut.2018.00112. eCollection 2018. Improvement of Diabetes Mellitus Symptoms by Intake of Ninjin’yoeito.
Kenichi Masumoto, Noriko Tagawa, Yoshiharu Kobayashi and Satoshi Kusuda.	論文	Pediatr Neonatol. 2018, pii: S1875-9572(18)30275-4. doi: 10.1016/j.pedneo.2018. Cortisol production in preterm infants with or without late-onset adrenal insufficiency of prematurity: A prospective observational study.
Ishihara M., Yoshii M., Minami N., Yasuoka Y., Tokonami S., Nagahama H., Mukai T.	プロシーディング	Proceedings of the 19th Workshop on Environmental Radioactivity, 2018, KEK Proceedings 2018-7, 288-293. "Airborne radon concentration measurements using gas-flow Ionization chambers and the effects of temperature changes" 査読有り
吉井 未来、石原 万己、南 のどか、安岡 由美、床次 眞司、長濱 裕幸、向 高弘	学会報告	管理モニタのラドン濃度測定における問題点　第19回「環境放射能」研究会　つくば　(2018/3/13)
Iwata D., Nagahama H., Muto J., Yasuoka Y.	学会報告	"Statistical analysis of the correlation between earthquakes and atmospheric radon concentration."International Symposium on Earthquake Forecast/5th International Workshop on Earthquake Preparation Process - Observation, Validation, Modelings, Forecasting - (ISEF-IWEP5), Chiba, Japan, (2018/5/25)
Iwata D., Nagahama H., Muto J., Yasuoka Y.	学会報告	"Quantitative Analysis of Anomalies of Atmospheric Radon Concentration and Earthquakes." Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 15th Annual Meeting, Honolulu, USA, (2018/6/3)
Higuchi S., Kamishiro Y., Ishihara M., Yasuoka Y., Mori Y., Hosoda M., Iwaoka K., Tokonami S., Janik M., Muto J., Nagahama H., Mukai T.	学会報告	"Evaluation of a radon air monitor as a measurement of radon concentration in water in comparison with a liquid scintillation counter." 9th International Conference on High Level Environmental Radiation Areas- For Understanding Chronic Low-Dose-Rate Radiation Exposure Health Effectsand Social Impacts (ICHLERA 2018), Hirosaki, Japan, (2018/9/27)
Janik M., Yasuoka Y., Higuchi S., Hasan Md., Tommasino L.	学会報告	"Validation of radon-film-badge for measurement of radon in water" 9th International Conference on High Level Environmental Radiation Areas- For Understanding Chronic Low-Dose-Rate Radiation Exposure Health Effectsand Social Impacts (ICHLERA 2018), Hirosaki, Japan,(2018/9/26)

Yasuoka, Y., Nagahama, H., Muto, J. and Mukai, T.	総説	Radiat. Environ. Med., 2018, 7(2) 86-94 "The anomaly in atmospheric radon concentration prior to the 2011 Tohoku-oki earthquake in Japan" 査読有り
Iwata D., Nagahama H., Muto J., Yasuoka Y.	論文	Sci. Rep. 2018, 8(1) 13028 doi: 10.1038/s41598-018-31341-5. "Non-parametric detection of atmospheric radon concentration anomalies related to earthquakes" 査読有り
山本克己，國正淳一	著書	2018年版　薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト 10-35（2018）　株式会社じほう
山本克己	著書	研究倫理審査申請準備ガイド　～研究計画書の記載方法～　（臨床・疫学研究実施における倫理審査についての小冊子）11-88（2018）日本薬剤師会
芦名沙耶佳、波多江崇、永井佐季、春名真歩、渡邉朋香、猪野彩、田内義彦、竹下治範、濵口常男	学会報告	NDBオープンデータを用いた本邦における抗ヒスタミン薬の処方実態調査、第68回日本薬学会近畿支部総会・大会　姫路（2018/10/1）
大林裕典、横山郁子、河内正二、藤本佳昭，川口真奈、浅田聖治、山下葵弓，重松理紗、末広結香里、沼田千賀子	学会報告	中学生1年生を対象としたがん教育による生徒の意識変化　第12回緩和医療薬学会　東京（2018/2/26）
川口真奈、武七海、大林裕典、浅田聖士、朴聡美、高橋佳孝、青柿和樹、樋野興夫、安藤潔，横山郁子、沼田千賀子	学会報告	がん哲学外来メディカル・カフェ参加による全人的苦痛の緩和　第12回緩和医療薬学会　東京（2018/2/26）
青柿和樹、橋本百世、岡本禎晃、森脇健介、沼田千賀子	学会報告	オピオイド系鎮痛剤の投与量に影響を与える因子の調査研究　第12回緩和医療薬学会　東京（2018/2/26）
横山郁子、武 七海、川口 真奈、安藤 潔、樋野 興夫、沼田 千賀子	学会報告	がん患者サポートグループ主催者に対する意識調査　～がん哲学外来メディカル・カフェより～第16回日本臨床腫瘍学会学術大会　神戸　（2018/7/20）
川口真奈、武 七海、大林 裕典、浅田 聖士、朴 聡美、高橋 佳孝、青柿 和樹、樋野 興夫、安藤 潔、横山 郁子、沼田 千賀子	学会報告	がん哲学外来メディカル・カフェよりにおけるスピリチュアルケアについて　第16回日本臨床腫瘍学会学術大会　神戸（2018/7/20）
中尾幸代、村田明子、松田裕子、南恵理子、山中智香、沼田千賀子	学会報告	新人薬剤師に求められる基本的な社会的スキルに関する研究 ―基本的な社会的スキルの分析― 第3回日本薬学教育学会大会 東京（2018/9/2）
村田明子、中尾幸代、松田裕子、南恵理子、山中智香、沼田千賀子	学会報告	新人薬剤師に求められる基本的な社会的スキルに関する研究 ―学生の実態― 第3回日本薬学教育学会大会 東京（2018/9/2）
中尾幸代、村田明子、松田裕子、南恵理子、山中智香、沼田千賀子	学会報告	新人薬剤師に求められる基本的な社会的スキルに関する研究 ―４年次生の現状― 第28回日本医療薬学会年会 神戸（2018/11/24）
村田明子、中尾幸代、松田裕子、南恵理子、山中智香、沼田千賀子	学会報告	新人薬剤師に求められる基本的な社会的スキルに関する研究 ―現場薬剤師と学生の比較― 第28回日本医療薬学会年会 神戸（2018/11/25）
上田浩貴、田野雄也、石井克尚、辰見明俊、岡本朋子、濵口常男、濱口良彦	学会報告	2型糖尿病患者におけるリラグルチドの血中BNPおよび心機能指標への効果　第66回日本心臓病学会学術集会　大阪（2018/9/7-9）
波多江崇、田中麻鈴、山下葵弓、米澤奈邦、　猪野彩、田内義彦、竹下治範、辰見明俊、濵口常男	学会報告	NDBオープンデータを用いた乳幼児における抗ヒスタミン薬の処方実態調査　日本薬学会第138年会　金沢（2018/3/25-28）
伊藤祐来、竹下治範、重松理紗、波多江崇、宮本敬子、中川素子、寺澤幸一、伊東亜依、岡本 大、鈴木豊明、濵口常男	学会報告	PTP包装からの錠剤の押し出し力に及ぼすフィルムの素材及び膜厚の影響　日本薬学会第138年会 金沢（2018/3/28）
國正淳一、四方田千佳子、村田正弘、細川修平	学会報告	医療機関におけるバイオシミラーの使用状況に関する調査結果　第12回日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会　京都（2018/08/26）
藤波綾、二村優歩、長谷川愛、名草由貴、多河典子、加藤郁夫	学会報告	高脂肪食負荷マウスにおけるアシタバ由来成分カルコンの抗糖尿病作用　日本薬学会第138年会　金沢　（2018/3/27）
河内　正二、堀部　紗世、佐々木　直人、棚橋　俊仁、濵口　常男、力武　良行	学会報告	アルギン酸ナトリウムのマウス非アルコール性脂肪肝炎モデルに対する抑制効果　日本薬学会第138年会　金沢（2018/3/27）
Kawauchi S., Horibe S., Sasaki N., Tanahashi T., Hamaguchi T., Rikitake Y.	学会報告	Inhibitory effects of sodium alginate on methionine and choline-deficient diet-induced hepatic steatosis in mice. 10th International Symposium on Cell/Tissue Injury and Cytoprotection /Organoprotection 2018. Kyoto（2018/6/29）
沼田　千賀子	講演	カフェでコミュニティとつながる　～神戸薬科大学の取り組み～　昭和薬科大学「昭薬祭」　東京　（2018/10/28）
田内義彦	講演	適切な漢方薬の選択と販売 平成29年度登録販売者の資質向上のための外部研修 神戸市（ 2018/2/17）
竹下治範、北 早織、若林知子、藪田有沙、猪野 彩、原田祐希、中川素子、中川道昭、波多江 崇、濵口常男	論文	PTP包装からの錠剤の押し出し力に及ぼす製剤間の影響，医薬品情報学,20(2) 98-103 , 2018
Tatsumi A., Inoue S., Hamaguchi T., Iwakawa S.	論文	Biol Pharm Bull., 2018, 41(2), 277-280. "The Effect of Ethanol on the Hydrolysis of Ester-Type Drugs by Human Serum Albumin" 査読あり

小林政彦，但馬重俊，山本克己，村田久枝，石倉久美子，真常美紀，吉良俊彦，谷本祐子，木下理紗，辻井佳代，堀越博一，守島繁昭，前田恵治，隠岐尚吾	論文	日本薬剤師会雑誌，70（3），27-32（2018）
田中　章太、細川　美香、上田　久美子、岩川　精吾	学会報告	オキサリプラチン耐性ヒト大腸がん細胞における幹細胞マーカーmRNAと幹細胞特異的microRNAの発現量比較　日本薬学会第138年会　金沢　(2018/3/28)
河田　千秋、今井　護、上田　久美子、田中　章太、細川　美香、岩川　精吾	学会報告	ヒト大腸がん細胞株HCT116細胞によるトランスポーター、解糖系酵素、メタロプロテアーゼの発現量に対するニトロベンジルチオイノシン処置の影響　日本薬学会第138年会　金沢　(2018/3/28)
松永　千晶、上田　久美子、田中　章太、細川　美香、岩川　精吾	学会報告	ヒト大腸がん細胞株HCT116細胞におけるチロシンキナーゼ阻害薬によるデシタビン取り込みの濃度依存的阻害　日本薬学会第138年会　金沢　(2018/3/28)
坂口　真菜、若森　浩貴、大河原　賢一、檜垣　和孝	学会報告	Paracellular Routeを介した薬物透過性に及ぼすヒストニンの影響に関する基礎的研究　第33回日本薬剤学会 静岡（2018/5/30-6/1）
石丸　智基、角野　琢哉、大川　慎也、大河原　賢一、檜垣　和孝	学会報告	Self-nanoemulsifying Drug Delivery Systemによる難水溶性薬物Clofazimine の経口吸収挙動の改善　第33回日本薬剤学会 静岡（2018/5/30-6/1）
大川　槙也、大河原　賢一、檜垣　和孝	学会報告	難水溶性-難脂溶性性薬物のSelf-nanoemulsifying Drug Delivery System （SNEDDS）製剤化に関する基礎的研究　第33回日本薬剤学会 静岡（2018/5/30-6/1）
高杉　裕太、寺内　　克、大河原　賢一、檜垣　和孝	学会報告	乳癌由来細胞FM3A固形がんモデルマウスに対する血管新生阻害剤SU5416前 投与によるパクリタキセル内封微粒子製剤の抗腫瘍効果への影響　第33回日本薬剤学会 静岡（2018/5/30-6/1）
東條　遥佳、戸井　啓太、兵頭　健治、石原　比呂之、菊池　寛、　大河原　賢一、檜垣　和孝	学会報告	悪性黒色腫由来がん細胞B16BL6固形がんモデルマウスを用いたドキソルビシ ン内封リポソーム製剤の抗腫瘍効果決定因子の解析 第33回日本薬剤学会 静岡（2018/5/30-6/1）
樋口　翔大、細川　美香、河野　祥吾、田中　章太、上田　久美子、大河原　賢一、岩川　精吾	学会報告	逆相HPLC-UV法を用いたdeoxycytidine kinase及びcytidine deaminaseにより生成するゲムシタビン代謝物の同時定量法の検討（2）日本薬剤学会　第33年会 静岡　(2018/5/30)
上田　久美子、中村　瞳子、田中　章太、細川　美香、大河原　賢一、岩川　精吾	学会報告	ヒト大腸がん細胞株HCT116細胞におけるデシタビンの細胞内取り込みの速度論的解析 日本薬剤学会　第33年会 静岡　(2018/5/30)
河内　いずみ、細川　美香、田中　章太、上田　久美子、大河原　賢一、岩川　精吾	学会報告	デシタビンとWnt経路阻害薬の大腸がん細胞殺細胞作用における併用効果　日本薬剤学会　第33年会 静岡　(2018/5/30)
Hosokawa M, Tanaka S, Ueda K, Ogawara K, Iwakawa S	学会報告	Decitabine Provided Synergistic Effects with Oxaliplatin in Colon Cancer Cells with Intrinsic Resistance to Decitabine The 2nd Workshop for Korea-Japan Young Scientists on Pharmaceutics　Korea (2018/7/10)
Ogawara K	学会報告	Optimization of cancer treatment with nano-DDS formulations: Knowledge of tumor vasculatures to make things work The 2nd Workshop for Korea-Japan Young Scientists on Pharmaceutics　Korea (2018/7/10)
上田　久美子、八巻　耕也、土生　康司、寺岡　麗子、宮田　興子、中山　尋量、北河　修治	学会報告	チーム基盤型学習を用いた分野横断統合演習の構築　　第3回日本薬学教育学会大会 東京　(2018/9/1).
細川　美香、竹内　敦子、田中　将史、小山　淳子、藤波　綾、西山　由美、和田　昭盛、北河　修治、益川　弘如、児玉　典子	学会報告	「薬学英語入門」におけるジグソー法を用いた協調学習の効果的な予習方法の検討ージグソー活動での深い学びを目指してー　　第3回日本薬学教育学会大会 東京　(2018/9/1).
細川　美香、城古　剛宏、田中　章太、上田　久美子、岩川　精吾、大河原　賢一	学会報告	デシタビン耐性がん細胞でのデシタビンとオキサリプラチン併用による相乗効果の機構　第24回創剤フォーラム若手研究会　神戸 (2018/9/22)
後川　響、細川　美香、田中　章太、上田　久美子、岩川　精吾、大河原　賢一	学会報告	イオン交換基と疎水基を併せ持つ逆相ミックスモード系カラムによる高極性化合物の分析　第24回創剤フォーラム若手研究会　神戸　(2018/9/22)
Ueda K, Nakamura T, Tanaka S, Hosokawa M, IwakawaS, Ogawara K	学会報告	Kinetic analysis of decitabine uptake in HCT116 colon cancer cells.　2018 International Meeting on 22nd Microsome and Drug Oxidations and 33rd Japanese Society for the Study of Xenobiotics　金沢　(2018/10/2)
平田　聖也、上撫　忠孝、大河原　賢一、水口　裕之、櫻井　文教	学会報告	腫瘍溶解性ウイルスであるレオウイルスの前投与によるリポソーム製剤の腫瘍ターゲティング向上に関する検討　―腫瘍溶解性ウイルスとリポソーム製剤との併用に関する検討―　第68回日本薬学会近畿支部大会　姫路 (2018/10/13)
細川　美香、田中　章太、上田　久美子、岩川　精吾、大河原　賢一	学会報告	エピジェネティック修飾薬デシタビンはオキサリプラチン併用により相乗効果を示す―デシタビンに自然耐性を示す大腸がん細胞での相乗効果の機構解明―　第68回日本薬学会近畿支部大会　姫路 (2018/10/13)

大河原　賢一、浅井　知浩、兵頭　健治、浅野　誠、菊池　寛	総説	Drug Delivery System, 2018, 33, 105-114, doi: https://doi.org/10.2745/dds.33.105 ″EPR効果に影響を及ぼす因子の体系化に向けて″
Onishihi K., Kanda T., Ono T., Toyota S., Imai Y., Ogawara K., Higaki K., Suzumori K.	論文	Transactions on Sensors and Micromachines, 2018, 138, 394-400, ″Effect of pre-emulsion state for a generation of nano-emulsion by an ultrasonic vibration device″査読有り
上田　久美子、寺岡　麗子、竹内　敦子、安岡　由美、内田　吉昭、八巻　耕也、土生　康司、宮田　興子、中山　尋量、北河　修治	論文	Libra,2018, 18, 1-12, ″薬学教育早期体験学習におけるピア評価の試み″査読無し
上田　久美子、寺岡　麗子、八巻　耕也、土生　康司、宮田　興子、中山　尋量、北河　修治	論文	Libra,2018, 18, 13-28, ″チーム基盤型学習を用いた分野横断統合演習の構築の試み　その２″査読無し
上田　久美子、寺岡　麗子、八巻　耕也、土生　康司、宮田　興子、力武　良行、中山　尋量、北河　修治	論文	Libra,2018, 18, 29-44, ″チーム基盤型学習を用いた分野横断統合演習の構築の試み　その３″査読無し
武田紀彦、有沢成美、宮本美咲、上田昌史	学会報告	*N*－(アシルオキシ)エナミドの位置選択的転位反応の開発　日本薬学会第138年会 金沢　(2018/3/26)
武田紀彦、二木恵里佳、古石瑞希、宮田興子、上田昌史	学会報告	極性転換反応を利用したメチルケトン類の立体選択的α-フェニル化反応の開発　日本薬学会第138年会 金沢　(2018/3/27)
松崎大力、武田紀彦、上田昌史	学会報告	共役ヒドラゾンの反応性を駆使したピラゾール合成法の開発　第13回六甲有機合成研究会 神戸　(2018/8/4)
小西恵地、森祐介、武田紀彦、上田昌史	学会報告	オキシムエーテルを有するシクロプロペン類を基質としたピロール類の新規合成法の開発　第38回有機合成若手セミナー　西宮 (2018/8/7)
武田紀彦、岡村光平、折原琴美、松本由貴、上田昌史	学会報告	ラクタム類の求核付加－環縮小反応によるピロリジン合成　第48回複素環化学討論会　長崎　(2018/9/4)
松崎大力、伊藤勇太、野久保名菜恵、八幡茉由、武田紀彦、上田昌史	学会報告	共役ヒドラゾンの反応性を駆使したピラゾール合成法の開発　第68回日本薬学会近畿支部総会・大会　姫路　(2018/10/13)
西川翔悟、武田紀彦、二木恵里佳、上田昌史	学会報告	連続環化反応を利用した新規ヘテロ環構築法の開発研究　第68回日本薬学会近畿支部総会・大会　姫路　(2018/10/13)
武田紀彦、折原琴美、松本由貴、岡村光平、上田昌史	学会報告	*N*－イミノラクタムの求核付加-環縮小反応の開発　第44回反応と合成の進歩シンポジウム　熊本　(2018/11/5)
上田昌史	講演	窒素原子上にヘテロ原子をもつイミンおよびアミドの特性を活用したヘテロ環合成　第3回近畿化学協会ヘテロ原子部会　大阪 (2018/1/29)
上田昌史	講演	*N*,*O*－ケテンアセタールの連続環化反応　第8回有機分子構築法夏の勉強会　淡路　(2018/5/12)
武田紀彦	講演	連続ヘテロ原子が関与するアミドの化学　第38回有機合成若手セミナー　西宮　(2018/8/7)
上田昌史、武田紀彦、宮田興子	総説	有機合成化学協会誌 2018, 76, 584-594.「アルコキシ基をもつイミンおよびアミドの特性を利用したヘテロ環合成」　査読有り
Nishida Y., Takeda N., Matsuno K., Miyata O., Ueda M.	論文	Eur. J. Org. Chem. 2018, 3938-3935. ″Acylative Coupling of Amine and Indole Using Chloroform as a Carbonyl Group″ 査読有り
Takeda N., Furuishi M., Nishijima Y., Futaki E., Ueda M., Shinada T., Miyata O.	論文	Org. Biomol. Chem. 2018, 16, 8940-8943. doi: 10.1039/C8OB02480D. ″Chiral isoxazolidine-mediated stereoselective umpolung α-phenylation of methyl ketones″ 査読有り
Hagimori M., Yamauchi T., Hirano Y., Sano K., Tanaka M., Mukai T.	学会報告	Development of a radioiodinated rhoflavin 1 derivative for nuclear imaging of systemic amyloidosis, The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto (2018/3/27)
Nakahara H., Hagimori M., Mukai T., Shibata O.	学会報告	Monolayers of a tetrazine-containing gemini amphiphile: Interaction with biomembrane lipids, European Colloid and Interface Society (ECIS2018), Ljubljana (Slovenia) (2018/9/5)
Sano K., Kanada Y., Takahashi K., Ding N., Ono M., Saji H., Mukai T.	学会報告	Cancer-targeted internal radiotherapy using radiolabeled polyoxazoline that self-aggregates under hyperthermic conditions, World Molecular Imaging Congress 2018, Seattle (2018/9/15)
Sano K., Kinugasa M., Tanaka T., Miyazaki H., Mukai T.	学会報告	Radiolabeled chondroitin sulfate A complex as a tumor-targeted nanoparticle probe for nuclear imaging, World Molecular Imaging Congress 2018, Seattle (2018/9/15)
Sano K., Kanada Y., Takahashi K., Ding N., Yamasaki T., Munekane M., Ono M., Saji H., Mukai T.	学会報告	Enhanced delivery of radiolabeled thermoresponsive polymers into tumors under hyperthermic conditions for internal radiotherapy, The 10th China-Japan-Korea Symposium on Radiopharmaceutical Sciences, Xiamen (2018/11/3)

Bao L., Sano K., Suzuno N., Yamasaki T., Munekane M., Mukai T.	学会報告	Development of SPECT/Fluorescence dual imaging probe based on polyoxazoline derivative for detection of tumors, The 11th China-Japan-Korea Symposium on Radiopharmaceutical Sciences, Xiamen (2018/11/3)
池田　宏之、石井　暁、佐野　紘平、千原　英夫、新井　大輔、安部　倉友、西　秀久、小野　正博、佐治　英郎、宮本　享	学会報告	インドシアニングリーン標識酸化鉄ナノ粒子による脳動脈瘤のマクロファージイメージング，第43回日本脳卒中学会学術集会，福岡　(2018/3/16)
中原　広、萩森　政頼、向　高弘、柴田　攻	学会報告	還元型テトラジン(rTz-C18)と生体膜脂質の Langmuir 単分子膜挙動，日本薬学会第138年会，金沢　(2018/3/27)
甘中　健登、佐野　紘平、萩森　政頼、山﨑　俊栄、宗兼　将之、向　高弘	学会報告	化学反応による薬物放出制御を可能とする新規リポソーム型DDS製剤の開発，第34回日本DDS学会学術集会，長崎　(2018/6/21)
佐野　紘平、金田　侑子、山田　真智子、小野　正博、佐治　英郎、向　高弘	学会報告	熱応答凝集性ポリマーを基盤とした小線源療法用薬剤の開発，医療薬学フォーラム2018／第26回クリニカルファーマシーシンポジウム，東京　(2018/6/24)
宗兼　将之、佐野　紘平、山﨑　俊栄、向　高弘	学会報告	がんセラノスティックスを目的としたコンドロイチン硫酸被覆リポソームの作製と基礎的評価，第28回金属の関与する生体関連反応シンポジウム，仙台　(2018/6/29)
田中　寿枝、佐野　紘平、宗兼　将之、山﨑　俊栄、向　高弘	学会報告	^{111}In標識γ-ポリグルタミン酸被覆ナノ粒子の肺転移メラノーマ核医学診断用プローブとしての有効性評価，第16回 次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム（PPF2018），三浦（2018/9/4）
包　玲、佐野　紘平、鈴野　菜都佳、山﨑　俊栄、宗兼　将之、向　高弘	学会報告	ポリオキサゾリンを母体構造とするがんの核医学・蛍光デュアルイメージングプローブの開発，第2回日本核医学会分科会　放射性薬品科学研究会／第18回放射性医薬品・画像診断薬研究会，東京（2018/9/8）
三木　麻友美、佐野　紘平、田中　寿枝、宗兼　将之、山﨑　俊栄、向　高弘	学会報告	がんの光熱治療を目的としたコンドロイチン硫酸被覆金プローブの開発，第68回日本薬学会近畿支部大会，姫路（2018/10/13）
澤田　和紀、甘中　健登、佐野　紘平、向　高弘、チッテリオ　ダニエル、蛭田　勇樹	学会報告	がんの治療と診断を目的とした機能性高分子マテリアルの開発，第40回日本バイオマテリアル学会大会，神戸　(2018/11/13)
萩森　政頼、山内　健夫、平野　優里、土屋　美希、山﨑　俊栄、佐野　紘平、田中　将史、向　高弘	学会報告	全身性アミロイドーシスを標的とする放射性ヨウ素標識チオフラビンT誘導体の合成と評価，第58回日本核医学会学術総会，沖縄（2018/11/15-17）
伏見　育崇、岡田　知久、荒川　芳輝、志水　陽一、大嶋　園子、日野田　卓也、中島　諭、佐野　紘平、石守　崇好、中本　裕士、富樫　かおり	学会報告	GliomaにおけるFMISO-PET集積とMRI所見の関連性，第58回日本核医学会学術総会，沖縄　(2018/11/16)
中本　裕士、石守　崇好、志水　陽一、佐野　紘平、佐賀　恒夫、富樫　かおり	学会報告	腫瘍性骨軟化症におけるDOTATOC-PET/CTの病変検出力，第58回日本核医学会学術総会，沖縄　(2018/11/16)
佐野　紘平、金田　侑子、金崎　健吾、丁　寧、小野　正博、佐治　英郎	学会報告	Brachytherapy with Intratumoral Injections of Radiometal-labeled Polymers that Thermo-responsively Self-aggregate in Tumor Tissues，第58回日本核医学会学術総会，沖縄（2018/11/16）
Takahashi Y., Araie Y., Nomura D., Takahashi Y., Sano K., Saji H., Takakura Y., Nishikawa M.	論文	J. Drug Target. 2018, 26(4), 373-381, doi: 10.1080/1061186X.2017.1387789. "Construction of nanostructured DNA harboring phosphorodiamidate morpholino oligonucleotide for controlled tissue distribution in mice" 査読有り
Hagimori M., Temma T., Kudo S., Sano K., Kondo N., Mukai T.	論文	Bioorg. Med. Chem. Lett. 2018, 28(2), 193-195, doi: 10.1016/j.bmcl.2017.11.027. "Synthesis of radioiodinated probes targeted toward matrix metalloproteinase-12" 査読有り
Nakahara H, Hagimori M, Mukai T, Shibata O.	論文	Colloids Surf. B Biointerfaces. 2018, 164, 1-10, doi: 10.1016/j.colsurfb.2018.01.015. "Monolayers of a tetrazine-containing gemini amphiphile: Interplays with biomembrane lipids" 査読有り
Iikuni S., Ono M., Watanabe H., Shimizu Y., Sano K., Saji H.	論文	Theranostics. 2018, 8(11), 2992-3006, doi: 10.7150/thno.20982. "Cancer radiotheranostics targeting carbonic anhydrase-IX with ^{111}In- and ^{90}Y-labeled ureidosulfonamide scaffold for SPECT imaging and radionuclide-based therapy." 査読有り
佐野　紘平	論文	JSMI Report 2018, 11(2), 9-14. "水溶性ポリマーを基盤とするがんのセラノスティックス薬剤開発" 査読有り
Ikeda H., Ishii A., Sano K., Chihara H., Arai D., Abekura Y., Nishi H., Ono M., Saji H., Miyamoto S.	論文	Atherosclerosis. 2018, 275, 1-10, doi: 10.1016/j.atherosclerosis.2018.05.028. "Activatable fluorescence imaging of macrophages in atherosclerotic plaques using iron oxide nanoparticles conjugated with indocyanine green." 査読有り
萩森　政頼、川上　茂、向　高弘	論文	ファルマシア 2018, 54(7), 688-692, doi: https://doi.org/10.14894/faruawpsj.54.7_688. "生体内遊離亜鉛イオンを可視化する蛍光プローブの開発" 査読有り

Yamamoto K., Yasui H., Bo T., Yamamori T., Hiraoka W., Yamasaki T., Yamada K., Inanami O.	論文	Appl. Magn. Reson. 2018, 49, 837-851, doi: https://doi.org/10.1007/s00723-018-1007-0. "Genotoxic Responses of Mitochondrial Oxygen Consumption Rate and Mitochondrial Semiquinone Radicals in Tumor Cells" 査読有り
Sano K., Kanada Y., Takahashi K., Ding N., Kanazaki K., Mukai T., Ono M., Saji H.	論文	Mol. Pharm. 2018, 15(9), 3997-4003, doi: 10.1021/acs.molpharmaceut.8b00441. "Enhanced delivery of radiolabeled polyoxazoline into tumors via self-aggregation under hyperthermic conditions." 査読有り
Fuchigami T., Fujimoto N., Haradahira T., Nojiri Y., Okauchi T., Maeda J., Suhara T., Yamamoto F., Nakayama M., Maeda M., Mukai T.	論文	J. Labelled Compd. Radiopharm. 2018, 61(14), 1095-1105, doi: 10.1002/jlcr.3691. "Synthesis and characterization of 11C-labeled benzyl amidine derivatives as PET radioligands for GluN2B subunit of the NMDA receptors." 査読有り
Michinaga S., Nakaya R., Fukutome C., Inoue A., Iwane A. Tanabe A., Koyama Y.	学会報告	Blockade of endothelin ET_B receptor ameliorates blood-brain barrier disruption through increase of angiopoietin-1 after traumatic brain injury in mice The 18th World Congress of Basical and Clinical Pharmacology. Kyoto (2018/7/3)
Michinaga S., Ryusei N., Fukutome C., Inoue A., Iwane A., Tanabe A.1, Yamamoto H., Mizuguichi H., Koyama Y.	学会報告	Recovery of blood-brain barrier disruption and reduction of brain edema by BQ788, an ET_B receptor antagonist, after traumatic brain injury in mice 第12回 次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム 札幌 (2018/9/16)
道永 昌太郎、中谷 隆聖、福留 千裕、井上 杏奈、岩根 綾、田邉 彩美、山本 隼人、水口 博之、小山 豊	学会報告	頭部外傷マウスのBlood-brain barrier破綻に対するエンドセリンET_B受容体拮抗薬BQ788による血管修復因子Angiopoietin-1の発現増加を介した抑制効果 第134回日本薬理学会近畿部会 神戸 (2018/11/23)
道永 昌太郎、鳥山 佳勇、藤井 愛望、小山 豊	学会報告	頭部外傷マウスにおけるBlood-brain barrierの破綻に対するエンドセリンET_B受容体拮抗薬の効果 日本薬学会第138年会 金沢 (2018/3/28)
有福 萌波、泉 安彦、猪瀬 由莉、堀内 奈緒子、立本 愛、小山 豊、金子 周司、久米 利明	学会報告	ミクログリアにおける Nrf2-ARE 経路活性化物質 TPNA10168の抗炎症作用 第134回日本薬理学会近畿部会 神戸 (2018/11/23)
木下 慎一、泉 安彦、福澤 萌香、西さこ 和馬、一村 涼夏、小山 豊、金子 周司、久米 利明	学会報告	CRISPR/Cas9システムを用いたDAT遺伝子へのインテグリンα5遺伝子ヘテロノックインマウスES細胞の作製 第41回日本神経科学大会 神戸 (2018/7/28)
冨井 祐里、髙鳥 悠記、泉 安彦、赤池 昭紀、久米 利明、土田 勝晴	学会報告	培養ヒト表皮細胞へのUVA傷害に対するDDCの作用 次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム 2018 福岡 (2018/8/25)
Matsumoto M, Sawahata M, Oda K, Miyamoto M, Izumi Y, Kume T.	学会報告	Study on pharmacological validity of brain ischemia-reperfusion model using zebrafish The 18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018) Kyoto (2018/7/5)
Takeda Y, Takada-Takatori Y, Izumi Y, Akaike A, Kume T, Tsuchida K.	学会報告	Effects of an Nrf2-ARE activator isolated from green perilla leaves on ear swelling in a mouse contact hypersensitivity model The 18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018) Kyoto (2018/7/5)
Inose Y, Izumi Y, Kataoka H, Akaike A, Koyama Y, Kume T.	学会報告	Protective effect of an Nrf2-ARE activator identified from a chemical library on 6-hydroxydopamine-induced dopaminergic neuronal death The 18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018) Kyoto (2018/7/5)
Ikeguchi S, Izumi Y, Kishino S, Ogawa J, Akaike A, Kume T.	学会報告	Inhibitory effect of the gut microbial linoleic acid metabolites on BV-2 microglial cell activation The 18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018) Kyoto (2018/7/2)
松本 真実, 澤幡 雅仁, 小田 果奈, 宮本 萌里, 泉 安彦, 赤池 昭紀,久米 利明	学会報告	ゼブラフィッシュへの低酸素負荷による新規脳虚血モデルの作出 第133回日本薬理学会近畿部会 広島 (2018/6/1)
髙鳥 悠記, 中川 翔太, 木全 璃子, 名尾 洋亮, 泉 安彦, 土田 勝晴, 赤池 昭紀, 久米 利明	学会報告	ドネペジルは細胞内輸送制御分子 SNX33 の発現量を増大して Aβ産生を抑制する 日本薬学会第138年会 金沢 (2018/3/26)
丹羽 健太, 泉 安彦, 有福 萌波, 亀井 優一, 八巻 耕也, 小山 豊, 赤池 昭紀, 久米 利明	学会報告	α7ニコチン性アセチルコリン受容体の陽性アロステリック修飾薬によるミクログリア活性化抑制を介したドパミン神経保護作用 日本薬学会第138年会 金沢 (2018/3/26)
八巻 耕也, 井上 聖太, 寺師 匡人, 泉 安彦, 江藤 忠洋, 金 容必, 小山 豊	学会報告	皮膚への免疫複合体の斑点状の分布を指標とした IgG 依存的アレルギーモデル (G-ASDIS) の確立とそれを利用した抗アレルギー物質の探索 日本薬学会第138年会 金沢 (2018/3/26)
Yasuhiko Izumi	講演	Establishment of a novel evaluation system for dopaminergic axonal outgrowth and its regulatory factor The 18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018) Kyoto (2018/7/2)
小山 豊	著書	薬物治療総論/症候・臨床検査/個別化医療 乾 賢一 監修 9-17 (2018) 中山書店 (分担執筆)
小山 豊	著書	新しい疾患薬理学 岩崎 克典、徳山 尚吾 編集 255-309 (2018) 南江堂 (分担執筆)

Michinaga S., Kimura A., Hatanaka S., Minami S., Asano A., Ikushima Y., Matsui S., Toriyama Y., Fujii M., Koyama Y.	論文	J Neurotrauma., 2018, 35(13),1481-1494. doi: 10.1089/neu.2017.5421."Delayed administration of BQ788, an ET_B antagonist, after experimental traumatic brain injury promotes recovery of blood-brain barrier function and a reduction of cerebral edema in mice." 査読有り
Ikeguchi S, Izumi Y, Kitamura N, Kishino S, Ogawa J, Akaike A, Kume T.	論文	J Pharmacol Sci. 2018;138:9-15. doi: 10.1016/j.jphs.2018.06.015. "Inhibitory effect of the gut microbial linoleic acid metabolites, 10-oxo-trans-11-octadecenoic acid and 10-hydroxy-cis-12-octadecenoic acid, on BV-2 microglial cell activation." 査読有り
Izumi Y, Kataoka H, Inose Y, Akaike A, Koyama Y, Kume T.	論文	Eur J Pharmacol. 2018;818:470-479. doi: 10.1016/j.ejphar.2017.11.023. "Neuroprotective effect of an Nrf2-ARE activator identified from a chemical library on dopaminergic neurons." 査読有り
中島　園美	学会報告	ソリューション・フォーカスト・アプローチーコラージュ療法の応用ー　日本心理臨床学会第37回秋季大会　神戸　(2018/8/30)
中島　園美、高尾　宜久	学会報告	薬学生による「認知症カフェ」の取り組み―メモリーブック作成による認知症患者と家族介護者との交流プログラム―　第3回日本薬学教育学会大会　品川　(2018/9/2)
谷仲　謙一、谷口　悠、江本　憲昭、平田健一	解説	PEAの進化とBPAとの共存　内科から　ストラクチャークラブ・ジャパンライブデモンストレーション2018 岡山 (2018/9/28)
Suzuki Y., Ikeda K., Miyagawa K., Tamada N., Nakayama K., Yanagisawa M., Emoto N.	学会報告	"Enhanced expression of Endothelin-2, an isopeptide of Endothelin-1, by hypoxia in lungs: possible role in pulmonary hypertension." 6th World Symposium on Pulmonary Hypertension, Nice, France (2018/2/27)
Yanaka K., Nakayama K., Shinke T., Otake H., Kawamori H., Shinkura Y., Tamada N., Onishi H., Tsuboi Y., Kobayashi S., Tanaka H., Okita Y., Emoto N., Hirata K.	学会報告	"Sequential hybrid therapy with pulmonary endarterectomy and additional balloon pulmonary angioplasty for chronic thromboembolic pulmonary hypertension." 6th World Symposium on Pulmonary Hypertension, Nice, France (2018/2/27)
Tamura Y., Furukawa A., Ly Tu, Christophe Guignabert., Marc Humbert., Emoto N., Watanabe H., Tatsumi K.	学会報告	"Severe Pulmonary Arterial Hypertension in Patients Treated by Chinese Herb Nature Indigo: Qing-Dai" 6th World Symposium on Pulmonary Hypertension, Nice, France (2018/2/27)
Onishi H., NakayamaK., Yanaka K., Tamada N., Izawa Y., ShinkuraY., Tuboi Y., Shimoyama S., Nishii T., Kono A., Negi N., Mori S., Otake H, Kobayashi S., Shinke T., Emoto N., Hirata K.	学会報告	"Pulmonary Blood Volume by Dual-energy CT is a new management index for chronic thromboembolic pulmonary hypertension" 6th World Symposium on Pulmonary Hypertension, Nice, France (2018/3/1)
Tamada N., Nakayama K., Yanaka k., Onishi H., Shinkura Y., Shinke T., Emoto N., Hirata K.	学会報告	"Pulmonary endarterectomy and balloon pulmonary angioplasty similarly improve health related quality of life in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension" 6th World Symposium on Pulmonary Hypertension, Nice, France (2018/3/1)
Shinkura Y., Nakayama K., Ohnishi H., Yanaka K., Tamada., Tsuboi Y., Kobayashi S., Otake H., Shinke T., Emoto N., Hirata K.	学会報告	"Predictors for worsening hemodynamics during follow-up period after balloon pulmonary angioplasty" 6th World Symposium on Pulmonary Hypertension, Nice, France (2018/3/1)
Nakayama K., Emoto N., Tamada N., Shinkura Y., Yanaka K., Onishi H., Matsuoka Y., Shinke T., Hirata K.	学会報告	"Prognostic factors of pulmonary hypertension with severe lung disease in retrospective study" 6th World Symposium on Pulmonary Hypertension, Nice, France (2018/3/1)
Donytra A. Wardhana., Ikeda K., Agian J. Barinda., Dhite B. Nugroho., Yagi K., Miyata K., Oike Y., Hirata K., Emoto N.	学会報告	Family with Sequence Similarity 13, Member a (Fam13a) Preserves Metabolic Health by Regulating Adipocyte Insulin Signaling　第82回日本循環器学会学術集会 大阪 (2018/3/23)
Dhite B. Nugroho., Ikeda K., Agian J Barinda., Donytra A Wardhana., Hirata K., Emoto N.	学会報告	A Novel Angiogenic Adipokine, Neuregulin-4 is Critically Involved in Obesity and Systemic Metabolic Health by Regulating Adipose Tissue Angiogenesis　第82回日本循環器学会学術集会 大阪 (2018/3/23)
Agian Jeffilano Barinda., Ikeda K., Dite Bayu Nu-groho., Donytra Arby Wardhana., Yagi K., Hirata K., Emoto N.	学会報告	Endothelial Senescence Messaging Secretome Induces Premature Senescence in Adipocytes and Impairs Systemic Metabolic Homeostasis　第82回日本循環器学会学術集会 大阪 (2018/3/23)
Bambang Widyantoro., Emoto N., Amiliana M. Soesanto.	学会報告	Endothelial Cell-derived Endothelin-1 Contribute to Accumulation of Myocardial Triglyceride and Diastolic Dysfunction in Diabetes Heart　第82回日本循環器学会学術集会 大阪 (2018/3/24)

Elda Putri Rahardini., Ikeda K., Yagi K., Hitara K., Emoto N.	学会報告	Glycoprotein Nonmetastatic Melanoma Protein B (Gpnmb) is a Novel Factor That is Involved in Obesity and Its-Related Metabolic Disorders　第82回日本循環器学会学術集会 大阪 (2018/3/24)
Kikid R. Qurania., Ikeda K., Yagi K., Hirata K., Emoto N.	学会報告	Inhibition of JAK Signaling Induces Browning of White Adipose Tissue, and Improves Systemic Metabolic Health in Vivo　第82回日本循環器学会学術集会 大阪 (2018/3/24)
Gusty Rizky Teguh Ryanto., Ikeda K., Miyagawa K., Yagi K., Suzuki Y., Hiirata K., Emoto N.	学会報告	Identification of a Novel Mechanism in Pulmonary Arterial Hypertension Development　第82回日本循環器学会学術集会 大阪 (2018/3/24)
Miygawa K., Tamada T., Ryanto Gusty Rizky., Barinda Again Jeffilano., Ikeda K., Emoto N.	学会報告	Endothelial Telomere Dysfunction Promotes Pulmonary Arterial Hypertension with Obliterative Neointimal Formation in Mice Exposed to SU5416/Hypoxia/Normoxia　第82回日本循環器学会学術集会 大阪 (2018/3/25)
Imam M. Adhikara., Yagi K., Pranindya Rinastiti., Suzuki Y., Ikeda K., Hitara K., Emoto N.	学会報告	Important Role of Chondroitin Sulfate N-Acetylgalactosaminyl-transferase 2 in Atherosclerotic Plaque Formation　第82回日本循環器学会学術集会 大阪 (2018/3/25)
Yanaka K., Nakayama K., Shinke T., Otake H., Kawamori H., Toba T., Shinkura Y., Kuroda K., Tahara N., Nagano Y., Tamada N., Yamamoto H., Tsukiyama Y., Onishi H., Nagasawa S., Takeshige R., Sugisaki Y., Tsuboi Y., Kobayashi S., Tanaka H., Okita Y. Emoto N., Hirata K.	学会報告	Sequential Hybrid Therapy with Pulmonary Endarterectomy and Additional Balloon Pulmonary Angioplasty for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension　第82回日本循環器学会学術集会 大阪 (2018/3/25)
Onishi H., Nakayama K., Yanaka K., Tamada T., Izawa Y., Shinkura Y., Tuboi Y., Shimoyama S., Nishii T., Kono A., Negi N., Mori S., OtakeH., Kobayashi S., Shinke T., Emoto N., Hitara K.	学会報告	Treatment goal of BPA would be extensive perfusion recovery beyond hemodynamic normalization　第82回日本循環器学会学術集会 大阪 (2018/3/25)
Gusty Rizky Teguh Ryanto., Ikeda K., Miygawa K., Yagi K., Suzuki Y., Hiirata K, Emoto N.	学会報告	“Identification of a Novel Gene that is Critically Involved in the Development of Pulmonary Arterial Hypertension”　27th Annual Scientific Meeting of Indonesian Heart Association Indonesia (2018/4/21)
谷仲　謙一、中山　和彦、谷口　悠、新倉　悠人、玉田　直己、大西　裕之、松岡　庸一郎、川森　裕之、大竹　寛雅、新家　俊郎、江本　憲昭、平田　健一	学会報告	CTEPHに対する治療効果及びRC timeの臨床的意義について　第３回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 大阪 (2018/6/22)
Imam Manggalya Adhikara., Yagi K., Suzuki Y., Miygawa K., Ikeda K., Hitara K., Emoto N.	学会報告	“Identification of Novel Gene Chondroitin Sulfate N-Acetylgalactosaminyl-transferase 2 in Atherosclerotic Plaque Formation” 18th World Congress of Basic & Clinical Pharmacology Kyoto (2018/7/2)
Dhite Bayu Nugroho., Ikeda K., Agian Jeffilano Barinda., Donytra Arby Wardhana., Yagi K., Hitara K., Emoto N.	学会報告	“Neuregulin-4 is an adipocyte-derived angiogenic factor that is essential in the maintenance of adipose tissue vasculature”　18th World Congress of Basic & Clinical Pharmacology Kyoto (2018/7/3)
Kikid Rucira Qurania., Ikeda K., Yagi K., Hitara K., Emoto N.	学会報告	“JAK Signaling Inhibitor Induces Browning of White Adipose Tissue, and Improves Systemic Metabolic Health In Vivo” 18th World Congress of Basic & Clinical Pharmacology Kyoto (2018/7/4)
Gusty Rizky Teguh Ryanto., Ikeda K., Miygawa K., Yagi K., Suzuki Y., Hiirata K., Emoto N.	学会報告	“Identification of INHBA as a Novel Gene in Regulating Pulmonary Arterial Hypertension Development” 18th World Congress of Basic & Clinical Pharmacology Kyoto (2018/7/4)
Donytra Arby Wardhana., Ikeda K., Dhite Bayu Nugroho., Agian Jeffilano Barinda., Kikid Rucira Qurania., Yagi K., Hitara K., Emoto N.	学会報告	“Family with Sequence Similarity 13, Member A Protects against Obesity-Related Metabolic Disorder by Modulating the Adipocyte insulin signaling” 18th World Congress of Basic & Clinical Pharmacology Kyoto (2018/7/5)
谷仲　謙一、中山　和彦、谷口　悠、　大竹　寛雅、川森　裕之、新倉　悠人、玉田　直己、大西　裕之、松岡　庸一郎、田中　裕史、大北　裕、新家　俊郎、江本　憲昭、平田　健一	学会報告	慢性血栓塞栓性肺高血圧に対する肺動脈内膜血栓摘除術及びバルーン肺動脈形成術の特性を活かしたハイブリッド療法　第27回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 神戸 (2018/8/4)

Yanaka K., Nakayama K., Shinke T., Otake H., Kawamori H., Toba T., Shinkura Y., Tamada N., Onishi H., Matsuoka Y., Tanaka H., Okita Y., Emoto N., Hitara K.	学会報告	“Comparison between pulmonary endarterectomy and balloon pulmonary angioplasty focusing on RC time constant and pulmonary artery compliance in chronic thromboembolic pulmonary hypertension.” ESC Congress 2018 Munich (2018/8/26)
Onishi H., Nakayama K., Yanaka K., Tamada N., Izawa Y., Shinkura Y., Shimoyama S., Nishii T., Kono A., Mori S., Otake H., Kobayashi S., Shinke T., Emoto N., Hitara K.	学会報告	“Lung perfusion recovery evaluated by dual-energy CT correlated with the improvement of exercise capacity in chronic thromboembolic pulmonary hypertension” ESC Congress 2018 Munich (2018/8/26)
Imam Manggalya Adhikara., Yagi K., Suzuki Y., Aristi Intan Soraya., Ikeda K., Hitara K., Emoto N.	学会報告	ChGn-2 Deletion Reduces Lipoprotein Retention and PDGF-mediated Aortic Smooth Muscle Cells Migration 第2回日本循環器学会基礎研究フォーラム 奈良 (2019/9/22)
Gusty Rizky Teguh Ryanto+, Ikeda K.,, Miygawa K.,, Yagi K.,, Suzuki Y.,#, Ken-ichi Hiirata*, Emoto N.	学会報告	INHBA is novel gene that regulates pulmonary arterial hypertension development 第2回日本循環器学会基礎研究フォーラム 奈良 (2019/9/22)
Kuribayashi K., Ikeda K., Pranindya Rinastiti., Elda Putri Rahardini.,Miygawa K., Gusty Rizky Teguh Ryanto., Yagi K., Suzuki Y., Hiirata K., Emoto N.	学会報告	Loss of family with sequence similarity 13, member A (Fam13a) exacerbates the vascular remodeling in pulmonary artery hypertension 第2回日本循環器学会基礎研究フォーラム 奈良 (2019/9/22)
Dhite Bayu Nugroho., Ikeda K., Agian Jeffilano Barinda., Pranindya Rinastiti., Emoto N.	学会報告	Endothelial cell senescence exacerbates heart failure due to pressure-overload 第2回日本循環器学会基礎研究フォーラム 奈良 (2019/9/22)
Donytra Arby Wardhana., Suzuki Y., Ikeda K., Miygawa K., Inik Chang., CheMyong Ko., Yanagisawa M., Emoto N.	学会報告	Expressional analysis of Endothelin-2 in Lung under Hypoxic Condition 第2回日本循環器学会基礎研究フォーラム 奈良 (2019/9/22)
Again Jeffilano Barinda, Ikeda K., Dhite Bayu Nugroho., Donytra Arby Wadhana., Yagi K., Hitara K., Emoto N.	学会報告	Endothelial-SASP induces premature senescence in adypocytes and disrupts metabolic homeostasis 第2回日本循環器学会基礎研究フォーラム 奈良 (2019/9/22)
江本 憲昭	講演	肺動脈性肺高血圧症の薬物治療ー基礎研究の立場からー 第20回日本成人先天性心疾患学会総会 東京 (2018/1/27)
Emoto N.	講演	“Treatment of Pulmonary Hypertension: Clinical Trials on Medication and Intervention” 27th Annual Scientific Meeting of Indonesian Heart Association Indonesia (2018/4/20)
江本 憲昭	講演	肺循環と右心不全の基礎研究の最新知見 第３回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 大阪 (2018/6/22)
江本 憲昭	講演	インドネシアにける心房中隔欠損症に伴う肺高血圧診療の現状 第３回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 大阪 (2018/6/23)
宮川 一也	講演	BMPR2を介した細胞間相互作用による肺動脈恒常性維持機構 第３回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 大阪 (2018/6/23)
Emoto N.	講演	“Current Status and Perspective of the Pulmonary Hypertension Registries in Japan” Annual Scientific Session of the Korean Pulmonary Hypertension Society 2018 Korea (2018/7/6)
宮川 一也	講演	Cell-Cell Contact Promotes Endothelial Integrity by BMPR2 Mediated Metabolic and Epigenetic Changes 第2回日本循環器学会基礎研究フォーラム 奈良 (2019/9/23)
江本 憲昭	講演	静注PGI_2製剤導入のタイミング：6th WSPHからのメッセージ 第66回日本心臓病学会学術集会 大阪 (2019/9/7)
玉田 直己、江本 憲昭	著書	エンドセリン受容体拮抗薬 受容体選択性は考慮すべきか？何を根拠に選択するのか？ 循環器ジャーナル 第66巻第3号 404-410 査読無し
Tamada T., Nakayama K., Yanaka K., Onishi H., Shinkura Y., Tsuboi Y.,Izawa Y., Kobayashi S., Otake H., Shinke T., Tanaka H., Okita Y., Emoto N., Hitara K.	論文	JACC Cardiovasc Interv. 2018 Jun 11;11(11):1114-1116. doi: 10.1016/j.jcin.2018.02.030. ″Early introduction of pulmonary endarterectomy or balloon pulmonary angioplasty contributes to better health related quality of life in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension″ 査読有り
Yanaka K., Nakayama K., Shinke T., Shinkura Y., Taniguchi Y., Kinutani H., Tamada N., Onishi H., Tsuboi Y., Kobayashi S., Otake H., Tanaka H., Okita Y., Emoto N., Hirata K.	論文	J Am Heart Assoc. 2018 Jun 21;7(13). pii: e008838. doi: 10.1161/JAHA.118.008838. ″Sequential hybrid therapy with pulmonary endarterectomy and additional balloon pulmonary angioplasty for chronic thromboembolic pulmonary hypertension.″ 査読有り
Hartopo AB., Arfian N., Nakayama K., Suzuki Y., Yagi K., Emoto N.	論文	Physiol Res. 2018 Jun 27;67(Supplementum 1):S185-S197. ″Endothelial-derived endothelin-1 promotes pulmonary vascular remodeling in bleomycin-induced pulmonary fibrosis.″ 査読有り

Arfian N., Kusuma MH., Anggorowati N., Nugroho DB., Jeffilano A., Suzuki Y., Ikeda K., Emoto N.	論文	Physiol Res. 2018 Jun 27;67(Supplementum 1):S137-S147. "Vitamin D upregulates endothelin-1, ETBR, eNOS mRNA expression and attenuates vascular remodelling and ischemia in kidney fibrosis model in mice." 査読有り
Wardhana DA., Ikeda K., Barinda AJ., Nugroho DB., Qurania KR., Yagi K., Miyata K., Oike Y., Hirata K., Emoto N.	論文	Proc Natl Acad Sci U S A. 2018 Feb 13;115(7):1529-1534. doi: 10.1073/pnas.1720475115. "Family with sequence similarity 13, member A modulates adipocyte insulin signaling and preserves systemic metabolic homeostasis." 査読有り
Aoki M., Hirono K., Higuma T., Suzuki Y., Nakayama K., Ichida F., Origasa H., Nishida N., Imura J., Emoto N., Yoshimura N.	論文	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2018 Mar 1;26(3):480-486. doi: 10.1093/icvts/ivx378. "Endothelin-1 may play an important role in the Fontan circulation." 査読有り
Shinkura Y., Nakayama K., Yanaka K., Kinutani H., Tamada N., Tsuboi Y., Satomi-Kobayashi S., Otake H., Shinke T., Emoto N., Hirata K.	論文	EuroIntervention. 2018 Apr 20;13(17):2060-2068. doi: 10.4244/EIJ-D-17-00157. "Extensive revascularisation by balloon pulmonary angioplasty for chronic thromboembolic pulmonary hypertension beyond haemodynamic normalisation." 査読有り
Nishimori M., Honjo T., Kaihotsu K., Sone N., Yoshikawa S., Imanishi J., Nakayama K., Emoto N., Iwahashi M.	論文	Case Rep Cardiol. 2018 May 20;2018:3895197. doi: 10.1155/2018/3895197. "Dasatinib-Induced Pulmonary Arterial Hypertension Treated with Upfront Combination Therapy." 査読有り
Aoki M., Hirono K., Higuma T., Suzuki Y., Nakayama K., Yamashita A., Fukahara K., Ichida F., Emoto N., Yoshimura N.	論文	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2018 May;66(5):299-302. doi: 10.1007/s11748-017-0809-6. "Pulmonary vascular disease in a failed Fontan patient with Down's syndrome." 査読有り
Okano M., Nakayama K., Tamada N., Shinkura Y., Yanaka K, Onishi H., Tanaka H., Shinke T., Tanaka H., Okita Y., Emoto N., Hirata K.	論文	Intern Med. 2018 Jul 15;57(14):2019-2023. doi: 10.2169/internalmedicine.9880-17. "Reversible Parkinsonism and Multiple Cerebral Infarctions after Pulmonary Endarterectomy in a Patient with Antiphospholipid Syndrome." 査読有り
Qurania KR., Ikeda K., Wardhana DA., Barinda AJ., Nugroho DB., Kuribayashi Y., Rahardini EP., Rinastiti P., Ryanto GRT., Yagi K., Hirata K., Emoto N.	論文	Biochem Biophys Res Commun. 2018 Jul 7;502(1):123-128. doi: 10.1016/j.bbrc.2018.05.131. "Systemic inhibition of Janus kinase induces browning of white adipose tissue and ameliorates obesity-related metabolic disorders." 査読有り
Yorifuji K., Uemura Y., Horibata S., Tsuji G., Suzuki Y., Miyagawa K., Nakayama K., Hirata K., Kumagai S., Emoto N.	論文	Pharmacol Res. 2019 Jan;139:370. doi: 10.1016/j.phrs.2018.09.018. "CHST3 and CHST13 polymorphisms as predictors of bosentan-induced liver toxicity in Japanese patients with pulmonary arterial hypertension." 査読有り
Nugroho DB., Ikeda K., Barinda AJ., Wardhana DA., Yagi K., Miyata K., Oike Y., Hirata K., Emoto N.	論文	Biochem Biophys Res Commun. 2018 Sep 3;503(1):378-384. doi: 10.1016/j.bbrc.2018.06.043. "Neuregulin-4 is an angiogenic factor that is critically involved in the maintenance of adipose tissue vasculature." 査読有り
Nugroho DB., Ikeda K., Kajimoto K., Hirata K., Emoto N.	論文	Biochem Biophys Res Commun. 2018 Oct 2;504(2):427-433. doi: 10.1016/j.bbrc.2018.08.197. "Activation of neuregulin-4 in adipocytes improves metabolic health by enhancing adipose tissue angiogenesis." 査読有り
Sano H., Tanaka H., Motoji Y., Mukai J., Suto M., Takada H., Soga F., Hatani Y., Matsuzoe H., Hatazawa K., Shimoura H., Ooka J., Nakayama K., Matsumoto K., Yamada H., Emoto N., Hirata K.	論文	Echocardiography. 2018 Dec;35(12):1997-2004. doi: 10.1111/echo.14161. "Echocardiography during preload stress for evaluation of right ventricular contractile reserve and exercise capacity in pulmonary hypertension." 査読有り
Nakayama K., Emoto N., Tamada N., Okano M., Shinkura Y., Yanaka K., Onishi H., Hiraishi M., Yamada S., Tanaka H., Shinke T., Hirata K.	論文	Pulm Circ. 2018 Oct-Dec;8(4):2045894018781537. doi: 10.1177/2045894018781537. "The optimization of iloprost inhalation under moderate flow of oxygen therapy in severe pulmonary arterial hypertension." 査読有り
Takeuchi K., Nakayama K., Okano M., Tamada N., Suehiro H., Shinkura Y., Yanaka K., Onishi H., Tanaka H., Shinke T., Emoto N., Hirata K.	論文	Respir Med Case Rep. 2017 Dec 7;23:55-59. doi: 10.1016/j.rmcr.2017.12.003. "Upfront triple combination therapy-induced pulmonary edema in a case of pulmonary arterial hypertension associated with Sjogren's syndrome." 査読有り